

鳥取県がん登録事業報告書

平成15年標準集計結果

平成20年3月

鳥 取 県

鳥取県健康対策協議会

はじめに

此の度、鳥取県健康対策協議会・がん登録対策専門委員会により、「鳥取県がん登録事業報告書、平成15年標準集計結果」が作成されました。これも、ひとえに日頃からご協力、ご支援いただいております届出医療機関の方々のご尽力の賜と心より深く感謝申し上げます。

鳥取県がん登録事業の大きな目的の一つは、県内におけるがん罹患の状況を出来る限り正確に把握し、県民のがん対策に寄与することと考えています。全国の動きとしても、平成18年6月に厚生労働省がん対策推進本部より「がん対策基本法」が発表され平成19年4月からこの法律が施行されるようになりました。その基本的施策として①がんの予防及び早期発見の推進、②がん医療の均てん化の促進、③がん研究の推進等が挙げられていますが、これらの施策を推進してゆくために、がん登録事業は不可欠なものであります。がん登録事業の意義と重要性については政府厚生労働委員会からも指摘されています。

がん対策基本法に基づき平成20年2月に、鳥取大学医学部附属病院が鳥取県がん診療連携拠点病院として新規に指定されました。これにより、県内のがん診療連携拠点病院が5病院（鳥取県立中央病院・鳥取市立病院・鳥取県立厚生病院・米子医療センター・鳥取大学医学部附属病院）となり、がん医療均てん化の体制が大きく前進しました。このことは、鳥取県がん登録事業にも良い影響を与え、拠点病院の院内がん登録制度の充実も伴って、がん登録件数が飛躍的に増加しています。ちなみに、平成19年の登録件数(約3千3百件)は平成18年に比べて約6百件増加しました。また、電子媒体によるがん登録届出システムの構築も進められており、がん登録精度が大きく改善される傾向にあります。

がん対策に、がん登録は不可欠なものです。県民の命を守るために鳥取県がん登録事業は極めて大切なものと思われれます。鳥取県における、がん対策の更なる発展のために、本報告書が少しでもお役に立てれば幸いだと考えております。

届出していただいております医療機関におかれましては、今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年3月

鳥取県健康対策協議会　がん登録対策専門委員会
委員長　　岸本拓治

目 次

I. がん登録事業の概要	1
1. 鳥取県がん登録の目的	
2. がん登録の対象	
3. 登録事項	
4. 登録のながれ	
がん登録事業の実施フロー	4
指標の解説	5
II. 鳥取県における平成15年がん罹患・受療状況標準集計結果	6
1. 粗罹患率および年齢調整罹患率	
2. 部位別罹患割合と年次推移	
3. がん罹患の年次推移	
4. がん罹患の地域別比較	
5. 年齢階級別がん罹患率	
6. がんの受療状況	
7. がん患者の医療機関からの届出状況	
8. 鳥取県における登録精度	
III. 報告資料（医師会報掲載分）	14
報告資料1 平成19年度がん登録対策専門委員会報告（一部抜粋・改変）	
報告資料2 第16回地域がん登録全国協議会総会研究会報告	
報告資料3 平成19年医療機関別・部位別年間届出件数・新規登録件数集計結果報告 －医学部附属病院の都道府県がん診療連携拠点病院指定により新規登録件数 約600件アップ！！－	
報告資料4 鳥取県がん対策推進計画（案）（概要版の一部抜粋）	
IV. 資料	
資料1－1 部位別・受診動機別集計結果（実数・％）	23
資料1－2 診断方法（旧届出票・新届出票）	24
資料1－3 病巣の拡がり	25

資料 2-1	部位別・治療方法別患者割合 (%)	26
資料 2-2	治療状況の年次推移	
資料 3-1	主要病院別届出件数の年次推移	27
資料 3-2	医療機関別届出件数の年次推移 (グラフ)	28
資料 3-3	2006年主要病院・部位別届出集計	
資料 4-1	鳥取県における組織診実施割合 (HV/I%) の年次推移	29
資料 4-2	鳥取県における登録精度 (DCN) の年次推移	30
資料 5-1	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成15年 男性)	31
資料 5-2	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成15年 女性)	32
資料 5-3	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成15年 総数)	33
資料 6	平成15年・市町村別罹患数	34
資料 7	平成15年・市町村別年齢調整罹患	35
資料 8-1	平成15年 標準化罹患比 (全国=100)	36
資料 8-2	平成15年 標準化死亡比 (全国=100)	37
資料 9-1	主要部位・性別罹患数の年次推移 (鳥取県・全国)	38
資料 9-2	主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移 (鳥取県・全国)	
資料 9-3	年齢調整罹患率・年齢調整死亡率の年次推移 (鳥取県・全国比較グラフ)	
資料 9-4	年齢調整罹患率・年齢調整死亡率の年次推移 (同上つづき)	
資料 10-1	主要部位・性別罹患数の年次推移 (東部・中部・西部)	41
資料 10-2	主要部位・性別年齢調整罹患率の年次推移 (東部・中部・西部)	42
資料 11	2001年全国がん罹患数・罹患率の推計値	43
V.	参考資料	44
	参考資料 1 鳥取県がん登録事業実施要綱	
	参考資料 2 登録情報の提供および疫学研究等での利用手続き	
	参考資料 3 「鳥取県がん登録届出票」	
	参考資料 4 「鳥取県がん登録届出票届出記入要領」	
	平成19年度がん登録対策専門委員会名簿・編集後記	52

I. がん登録事業の概要

鳥取県における地域がん登録は、昭和44年、45年の悪性新生物調査を基盤とし、昭和46年からは鳥取県医師会、鳥取県、鳥取大学医学部の三者で構成される「鳥取県健康対策協議会」発足と同時に、がん対策専門委員会（昭和59年よりがん登録専門委員会と改称）が「鳥取県腫瘍登録」（通称がん登録）として実施・運営を行っている。

本事業の特徴は、県内の事業に加えて、厚生労働省のがん登録特別研究助成金による研究班に参加することで、現在全国で13府県1市ががん登録を実施している。ルーチン作業としては、各年度の標準集計であり、3年遅れで全国の集計結果を発表している。

1992年からは「地域がん登録全国協議会」の発足に伴い鳥取県も参画し、地域がん登録の精度向上と活用ならびに登録技術・情報の交換を目的にした活動をおこなっている。

1. 鳥取県がん登録の目的

鳥取県内のがん登録情報を基にして、がん予防活動の推進、がん医療の向上と評価を目的とする以下の諸活動を行うことによって、県民の健康の保持増進に資することを、最終目標とする。

- (1) 罹患数および罹患率の集計と動向の把握
- (2) がん患者の受療状況の把握
- (3) 登録患者の生存率の測定と動向の把握
- (4) がん予防、医療活動の企画のための基礎資料の提供ならびに評価
- (5) 医療機関との情報交流
- (6) 疫学研究への活用
- (7) 年度毎に採択される課題研究の実施

2. がん登録の対象

- (1) 鳥取県居住者で下記の疾患と診断／疑診された者、または死亡した者である。
 - 1) 悪性新生物（ICD-10のC00-96）
 - 2) 上皮内癌（ICD-10のD05-D06）
 - 3) 性質不詳の新生物（ICD-10のD37-D48）この中には、良性と明記されていない脳腫瘍、内分泌腫瘍を含んでいる。
- (2) 鳥取県内居住者であって死亡した者のうち、死亡票のいずれかの欄に悪性新生物の記載、または性質不詳の悪性新生物の記載のある者も対象としている。なお、最終的に死亡票の情報のみで登録された者は「死亡日」を「診断日」として、「罹患数」に加えている。

3. 登録事項

がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項について登録する。

- (1) 届出医療機関
- (2) 氏名
- (3) 性別
- (4) 生年月日

- (5) 現住所
- (6) 診断名
- (7) 病理組織診断名
- (8) 病巣の拡がり
- (9) 初診年月日
- (10) 症状初発年月
- (11) 受診の動機
- (12) 診断・疑診年月日
- (13) 診断根拠
- (14) 治療方法
- (15) 生存状況
- (16) 前医療機関
- (17) 紹介医療機関

4. 登録のながれ

(1) 医師が県内居住者の悪性新生物、または性質不詳の新生物を診断または疑診したとき、あるいはそのような患者の死亡したときは、届出票記入要領に従って、「鳥取県がん登録届出票」に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて、鳥取県医師会腫瘍調査部に送付する。

また、医師は腫瘍調査部から「問い合わせ票」、「追跡票」または「補充票」を受け取ったときには、同様に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて返送する。

(2) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、医療機関から送付された月間の「届出票」および回答された「問い合わせ票」または「追跡票」について、既に届出られている者に関する「届出票」か否かを調べ、同一人の記録がレコード・リンケージされるようにデータ入力を行う（原票登録処理）。

次いで「届出票」に記入もれや疑義、または不明な点が発見されれば「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して、届出た医療機関に問い合わせる。

(3) 「届出票」の項目（16）、（17）に記入されている医療機関から、その患者について届出がなされていない場合は、その記入されている医療機関宛に、「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して送付する。

(4) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、毎月、所定の届出処理が終わった「腫瘍登録簿」および「届出票」と回答された「問い合わせ票」を鳥大医学部環境予防医学分野に送付する。

(5) 鳥大医学部環境予防医学分野は、県医師会腫瘍調査部から送付された「腫瘍登録簿」に基づいて、毎月、既登録の「腫瘍登録簿」と照合し未登録であれば、登録番号を発行して「腫瘍登録簿」に記入する。

(6) 死亡小票照合は、鳥取県福祉保健部の協力によって鳥大医学部環境予防医学分野が行うもので、「腫瘍登録簿」と死亡小票の照合を行って、「腫瘍登録簿」中の死亡者の確認と、未登録の悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者の発見を行うものである。毎年1回行うものとする。

(7) 死亡小票照合によって、「腫瘍登録簿」中の死亡が確認された者は、死亡小票から必要事項を転記する。

(8) 「腫瘍登録簿」以外の死亡小票中悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者は、「補充票」に死亡小票から必要事項を転記し、死亡診断書作成の

医療機関に「補充票」と「補充票届出依頼状」とを送付して届出を求める。

(9) 県医師会腫瘍調査部は、登録された者の生死の確認を行うために死亡小票照合と「追跡票」発送とを行う。

「追跡票」の発送とは、上述の処理の後、必要に応じて「腫瘍登録簿」中に生存者となっている者の生死を確認するために行うものである。

(10) 鳥取大医学部環境予防医学分野は、年1回の標準集計に基づく腫瘍データを利用して、罹患および死亡状況についての集計解析を行い、所定の統計表並びに腫瘍データリストを作成する。

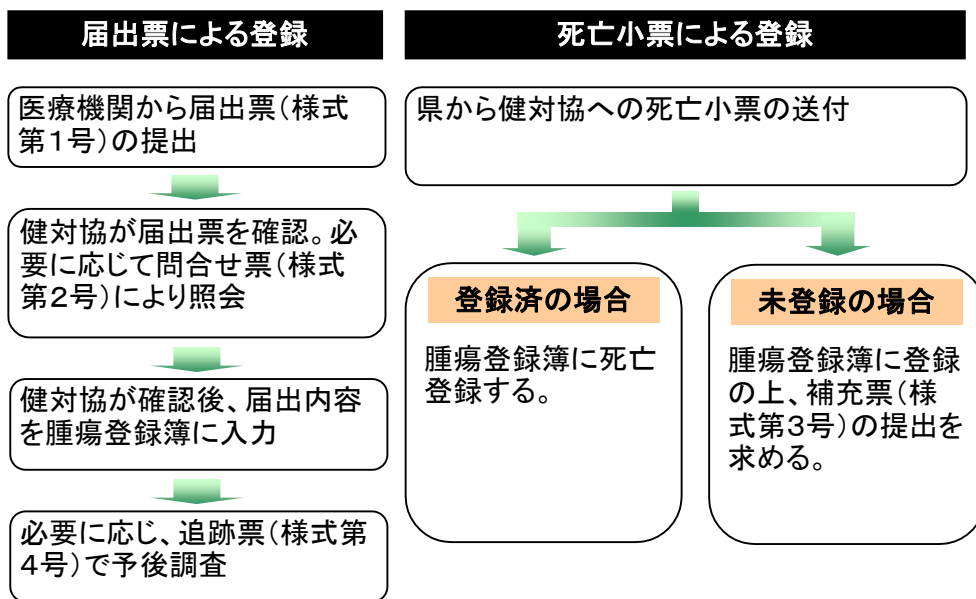
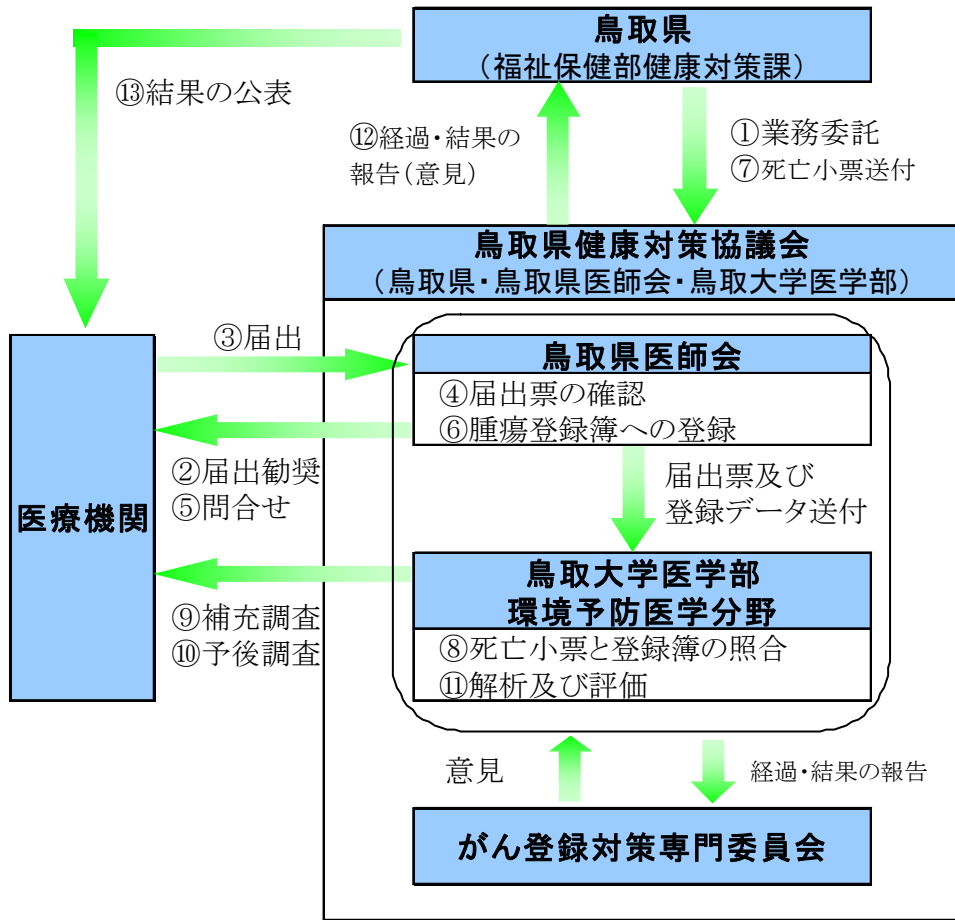
集計結果は、毎年、年単位で鳥取県医師会腫瘍調査部および鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会によって「鳥取県がん登録事業報告書」としてにまとめられ、協力医療機関をはじめとして、市町村、県外がん登録室に送付される。また、ホームページにも掲載される。

以上の作業によって「腫瘍登録」患者は少なくとも毎月、記録の追加、訂正、更新が行われることとなり、罹患状態並びに死亡状態について届出医療機関との間で処理の細かい情報交流が行われることになる。

なお、集計時期については以下の考えに従って3年遅れの集計を実施している。

がん（悪性新生物）は、診断確定の難しい疾病であり、治療期間も長期に及ぶ。そのため、届出が遅れることを想定し、集計は、診断年の少なくとも2年以降に行うことが、厚生労働省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が発行した「地域がん登録の手引き」で定められている。これを「標準集計」としており、本県もこれに従って毎年実施している。

■がん登録事業の実施フロー



指標の解説

1 罹患数、届出患者数

届出患者数は、医療機関より届出があった患者が初めて悪性新生物と診断された年月日をもとに、集計対象年（その年の1月1日より12月31日まで）のがん患者の届出の数である。

罹患数は、届出患者数と届出がなく集計対象年の死亡情報により悪性新生物で死亡した患者数の合計数のことである。

2 死亡数

厚生労働省人口動態調査死亡票鳥取県分による。

$$3 \text{ 罹患率 (死亡率)} = \frac{\text{罹患数 (死亡数)}}{\text{人口}} \times 100,000$$

$$4 \text{ 年齢調整罹患率} = \frac{\left\{ \left[\begin{array}{l} \text{観察集団の年齢階級} \\ \text{別罹患率 (死亡率)} \times \text{年齢階級別人口} \end{array} \right] \times \text{標準人口のその} \right\} \text{の年齢階級の総和}}{\text{標準人口の総和}} \times 100,000$$

$$5 \text{ 罹患数のうち死亡情報で初めて登録された者の割合 (DCN 割合)} = \frac{\text{死亡情報で初めて登録した数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報で初めて把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$6 \text{ 罹患数のうち死亡情報のみで登録された者の割合 (DC0 割合)} = \frac{\text{死亡情報のみの登録数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報のみで把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$7 \text{ 組織診断の実施割合} = \frac{\text{病理診断を行った患者数}}{\text{罹患数 (届出患者数)}} \times 100$$

収集された資料の医学的信頼度を示すために用いる。この指標は死亡情報も含めた罹患数に対する組織診断の実施割合（H/I）と医療機関より届出があった罹患数（届出患者数）に対する組織診断の実施割合（H/R）とがある。

$$8 \text{ 罹患/死亡比 (I/D)} = \frac{\text{罹患数}}{\text{死亡数}}$$

集計対象年の悪性新生物の罹患数が、その年の悪性新生物の死亡数の何倍かを示す。この値が、1.5～2.0であれば、届出の漏れが少ないと判断できる。

9. 標準化罹患（死亡）比

= 実際の罹患（死亡）数 / 期待罹患（死亡）数 × 100 …… 全国を100とした場合の罹患（死亡）比

II. 鳥取県における平成 15 年がん罹患・受療状況標準集計結果

1. 粗罹患率および年齢調整罹患率

a) 罹患集計

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準集計方式に従い平成 15 年(2003 年)の罹患集計を行った。がんの全部位では罹患総数 3,438 件(男 1,997、女 1,441)で、人口 10 万対粗罹患率は男 683.4、女 451.9 であった。

年齢調整罹患率(標準人口は 60 年日本人モデル人口)は、男 415.9、女 239.8 であった。

部位別に見ると、鳥取県における罹患割合は、男女共に胃が最も高く(男 21.9%、女 16.7%)、次いで男では肺(16.2%)、前立腺(10.7%)、結腸(9.6%)が高く、女では結腸(13.0%)、乳房(10.5%)の順となった(表 1)。年齢調整罹患率は、男では胃 91.9、肺 63.6、前立腺 40.0、結腸 38.8、女では順位が変わって乳房が 36.6 でトップ、次いで胃 35.2、子宮 35.1 の順となった(表 1)。

地域別の標準化罹患比(全国値=100)では、東部では男は肺、胃、女は肝臓、胃、中部では男の肝臓、直腸および女の結腸と肺が、西部では男の胃、肺、女の肝臓と胃が高い罹患比を示した。しかし、女の乳房が東部では 101.1、中部では 73.7、西部では 59.6 と低い罹患比であった(表 2)。

表 1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況—平成15年(2003年)—

男	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	前立腺	膀胱	食道	リンパ 腫
罹患数	1,997	437	191	117	153	47	90	323	214	78	69	36
罹患割合(%)	100.0	21.9	9.6	5.9	7.7	2.4	4.5	16.2	10.7	3.9	3.5	1.8
粗罹患率	683.4	149.6	65.4	40.0	52.4	16.1	30.8	110.5	73.2	26.7	23.6	12.3
調整罹患率	415.9	91.9	38.8	27.2	33.7	9.4	18.6	63.6	40.0	15.4	15.0	8.3
全国推定罹患率	380.6	84.5	42.8	25.5	32.3	9.4	13.0	56.6	26.2	13.9	16.0	9.4

女	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	リンパ 腫
罹患数	1,441	240	188	79	90	52	67	136	151	126	43	40
罹患割合(%)	100.0	16.7	13.0	5.5	6.2	3.6	4.6	9.4	10.5	8.7	3.0	2.8
粗罹患率	451.9	75.3	59.0	24.8	28.2	16.3	21.0	42.7	47.4	39.5	13.5	12.5
調整罹患率	239.8	35.2	25.7	13.6	11.6	5.3	8.6	18.8	36.6	35.1	9.2	6.1
全国推定罹患率	247.4	32.8	26.5	12.4	10.9	7.3	7.8	18.6	51.0	31.1	9.2	6.1

*全国推定罹患率は2001年(2000-2002)データを使用

2. 部位別罹患割合と年次比較

鳥取県における部位別罹患割合は、男女共に胃が最も高く(男 21.9%、女 16.7%)、次いで男では肺(16.2%)、前立腺(10.7%)、結腸(9.6%)が高く、女では結腸(13.0%)、乳房(10.5%)の順となった(表 1)。全国と比較すると、男の前立腺と結腸、結腸と肝臓、肝臓と前立腺の順位が逆転したほかはほぼ一致したが、女では乳房の順位が全国の女(16.7%)が 1 位であったのに対して鳥取県では 3 位となった(次頁図 1)。罹患・死亡割合の 1979 年と 2003 年の年次比較をみると、罹患・死亡割合とも胃、子宮で減少、とくに胃の死亡と子宮の死亡割合は半減している。逆に、顕著に増加した部位は男女とも結腸で、死亡・罹患割合とも 2 倍から 3 倍に増加した。また、女の肺は死亡・罹患割合とも増加した(次頁: 図 2-1, 図 2-2)。

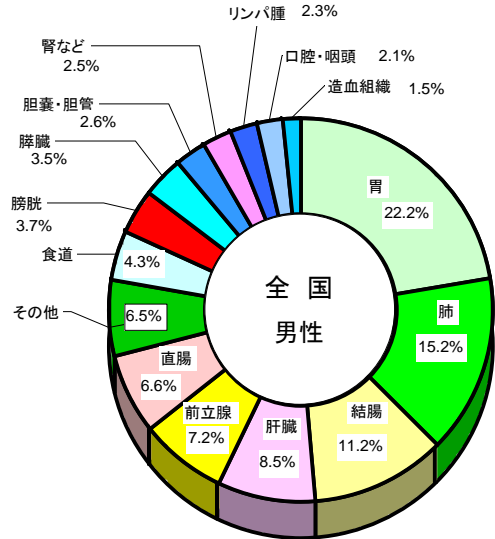
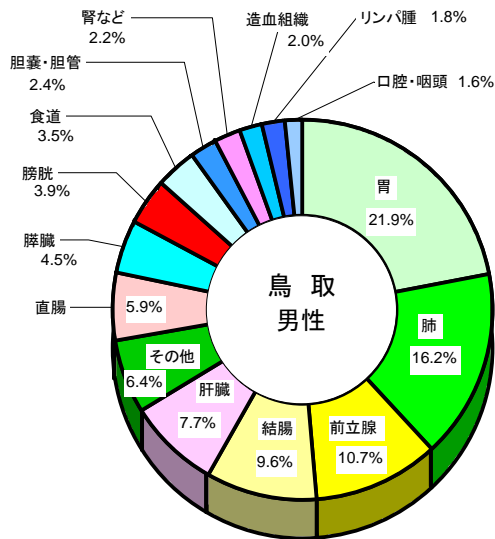


図1 罹患割合の性別・全国比較

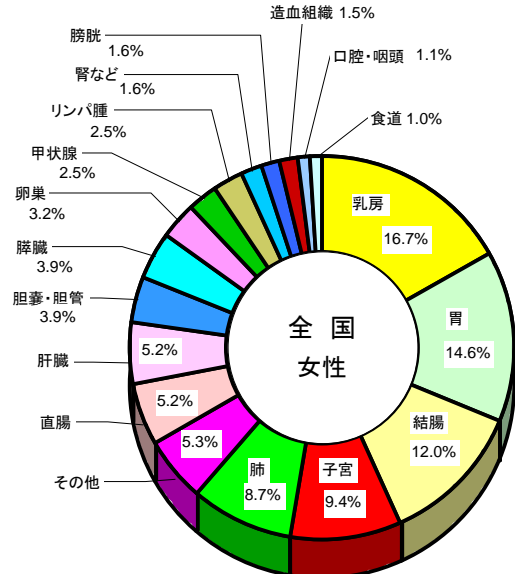
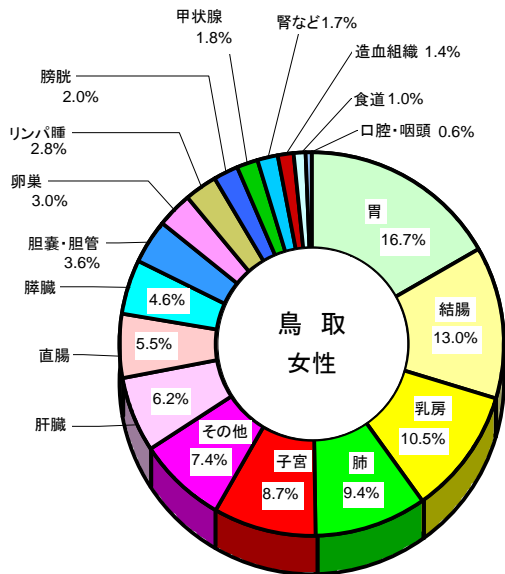
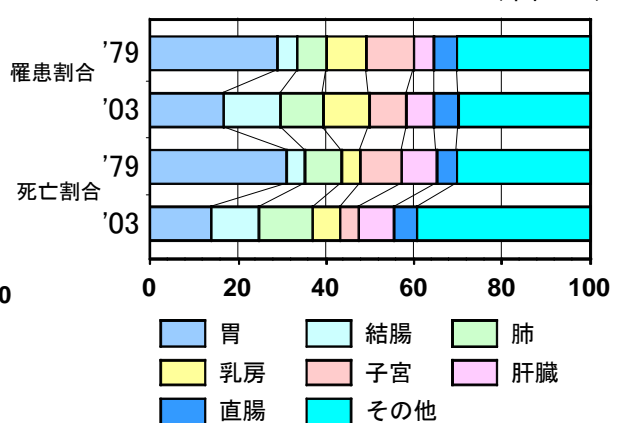
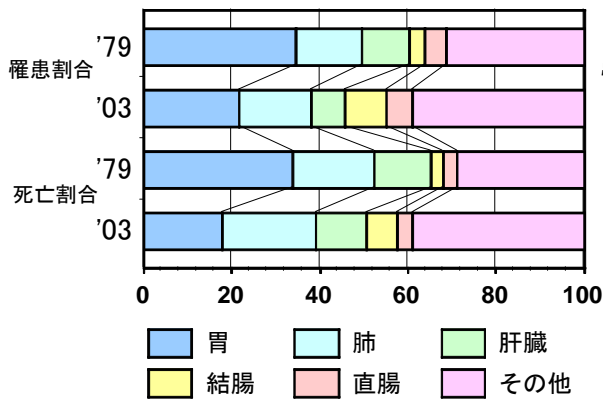


図2-1 罹患・死亡割合の年次推移(男)
(単位: %)

図2-2 罹患・死亡割合の年次推移(女)
(単位: %)



3. がん罹患の年次推移

1) 罹患数

男女とも全部位、肺、結腸、男では前立腺
女では子宮、肝臓において罹患数の増加傾
向が観察された。

全部位では、1979-80年の851件/年から
2003年の1,997件/年の顕著な増加を、
とりわけ男の前立腺では、21件から214件
の10倍強もの顕著な増加を示した（図3-1、
図3-2）。

2) 罹患割合

男女とも胃の減少が顕著であるが、未だ
男女とも胃が最も高い罹患割合を示す。
男では結腸が、女では結腸、肺、乳房、肝臓で
増加傾向が見られた（図2-1、図2-2）。

3) 年齢調整罹患率

調整罹患率の年次推移（1988-2003年）でみると、2003年は男は結腸、肝臓、胃で、女は胃、乳
房で減少傾向が見られた。しかし、男の直腸、女の肝臓、子宮では増加傾向を見た。（図4-1、図4-
2）。

一方、調整死亡率の推移は、男は胃、肝臓、肺に減少傾向が見られ、女は胃、肝臓、子宮で減少傾
向が見られた。しかし、男の全部位、胃、結腸、直腸、女の全部位、直腸、肺、乳房は増加傾向を見
た（図5-1、図5-2）。

図3-1 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(男)

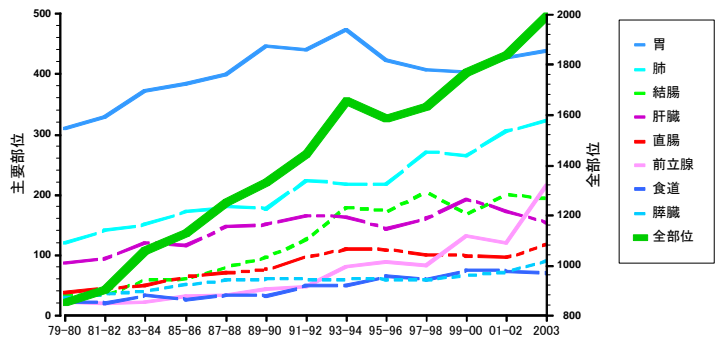


図3-2 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(女)

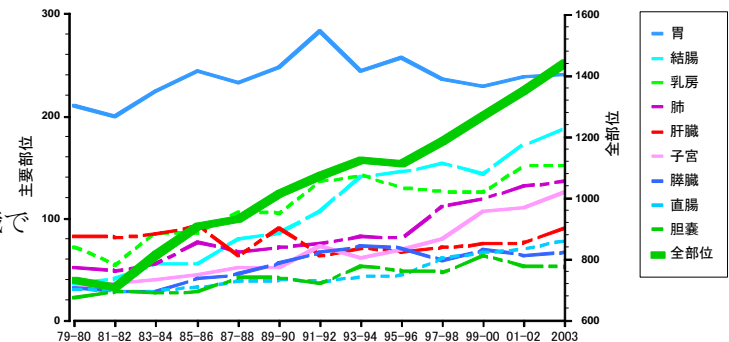


図4-1 年齢調整罹患率の年次推移(男)

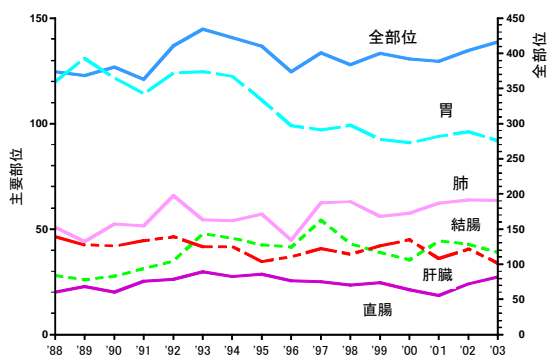


図5-1 年齢調整死亡率の年次推移(男)

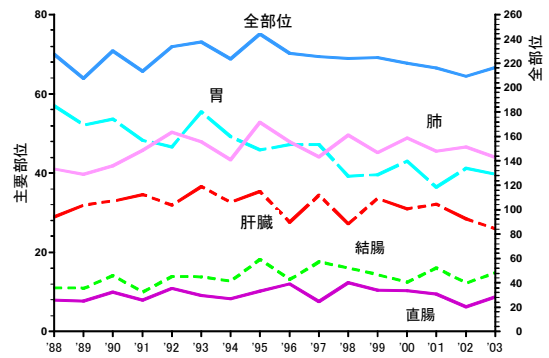


図4-2 年齢調整罹患率の年次推移(女)

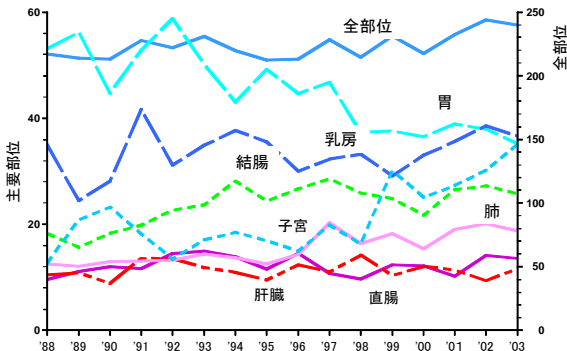
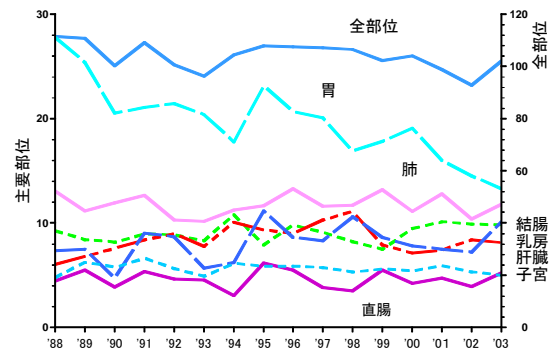


図5-2 年齢調整死亡率の年次推移(女)



4. がん罹患の地域別比較 (2003 年)

1) 年齢調整罹患率による比較

東部では男の全部位、胃、肝臓、肺、女の全部位、胃、肝臓、肺、子宮が、中部では、男の全部位、胃、肝臓、肺、女の結腸、子宮、西部では男の肺、女の胃が全国値を上回る高い罹患率を示した。市郡別では、東伯郡の男の胃、境港市の男女の結腸が、気高郡の男の肝臓および肺が、日野郡の女の子宮が高い罹患率を示した (図6-1～図6-4)。

2) 標準化罹患比 (全国=100) による比較

年齢調整罹患率と同様、地域別標準化 (全国値=100) でも、東部では男女の胃、肝臓、肺が、中部では男の肝臓と直腸、女の結腸と肺が、西部では男の胃と肺、女の肝臓、胃、結腸が高い罹患比を示した。しかし、西部では女の乳房が 59.6 の低い罹患比であった (表 2)。

市郡別には、鳥取市の女の直腸が 224.3 男の胃と肺が 192.8 倉吉市の女の肝臓が 211.4、境港市の男女の結腸が 213.9、199.4 岩美郡の女の肺が 258.1、気高郡の女の胃が 191.6、八頭郡の女の肝臓が 283.4 東伯郡の女の結腸が 222.8 と高い罹患比を示した。

ちなみに、標準化死亡比においても鳥取市の男の直腸が 143.4、米子市の女の直腸が 133.7、倉吉市の女の直腸が 237.0 肺が 134.6、境港市の男女の結腸が 197.0 175.3 女の胃が 164.2、岩美郡の男の肝臓が 147.0 気高郡の女の胃が 166.9 直腸が 163.7、子宮が 163.5、八頭郡の女の肝臓は 141.5 東伯郡の女の直腸が 280.6、結腸が 170.3、西伯郡の女の乳房が 188.3 日野郡の男の直腸が 193.5 女の肺が 148.6 子宮が 147.3 の明らかに高い死亡比を示した (表 2, 3, 4)。

図6-1 地域別・年齢調整罹患率(全部位) 人口10万対

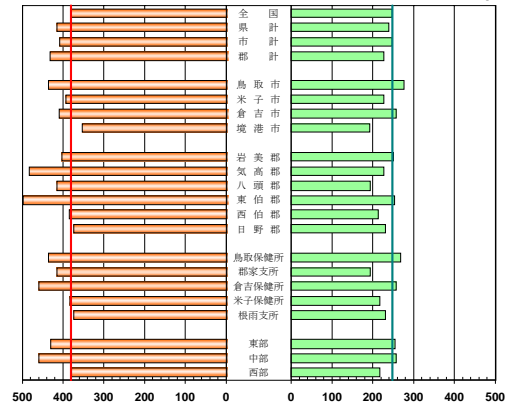


図6-2 地域別・年齢調整罹患率(胃) 人口10万対

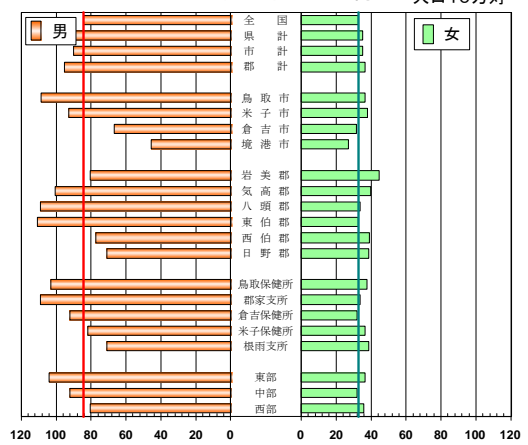


図6-3 地域別・年齢調整罹患率(肝臓)人口10万対

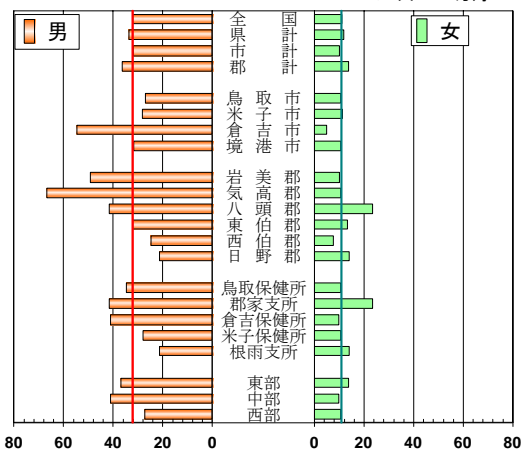


図6-4 地域別・年齢調整罹患率(結腸) 人口10万対

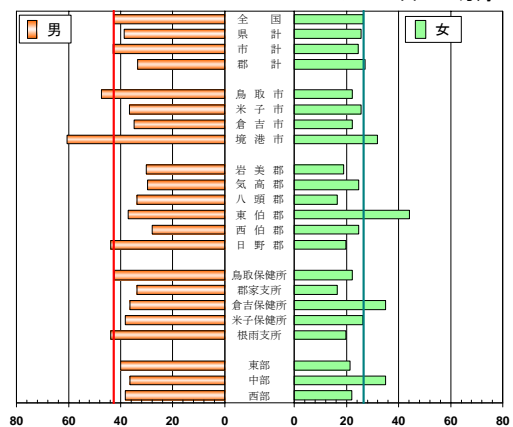


表 2 鳥取県における地域別標準化罹患比 (S I R) の比較 全国 = 100

		全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
男	東部	111.7	121.0	98.3	94.2	109.6	121.0	—	—
	中部	121.6	103.7	93.2	126.0	125.4	103.7	—	—
	西部	99.2	97.6	88.7	91.7	78.4	97.6	—	—
女	東部	103.5	116.9	91.2	102.7	132.8	108.2	90.2	107.6
	中部	106.1	101.9	134.3	122.3	83.5	119.7	70.0	135.3
	西部	94.8	107.9	102.1	96.6	106.4	88.7	54.4	97.4

表3 平成15年・地域別標準化罹患比(全国値=100)

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	108.6	100.5	107.9	110.1	93.3	104.6	99.6	104.2	100.1	111.7	107.9	102.6	71.6	108.7
市計	107.2	101.5	107.1	111.4	102.4	101.2	105.6	126.7	95.6	95.1	107.1	102.5	80.0	110.2
郡計	110.4	99.1	109.0	108.4	81.9	108.7	92.0	75.3	105.8	131.9	109.0	102.8	59.3	106.4
鳥取市	114.1	109.3	127.9	118.7	114.8	92.7	112.5	145.9	81.2	99.3	127.9	115.6	110.5	129.2
米子市	103.0	99.3	112.0	110.9	84.7	102.3	109.4	119.4	81.4	103.5	112.0	91.8	64.1	98.8
倉吉市	110.4	98.0	80.2	106.6	88.1	97.0	113.0	123.5	165.6	57.8	80.2	122.5	85.6	137.1
境港市	93.4	86.8	54.4	94.7	140.5	133.5	57.0	89.6	98.6	106.5	54.4	65.0	15.7	43.0
岩美郡	100.7	110.1	96.0	102.4	67.1	99.4	137.1	29.8	149.8	137.1	96.0	184.8	99.0	123.7
気高郡	118.2	87.0	107.7	143.0	94.9	93.3	20.9	64.4	143.7	87.9	107.7	89.8	49.3	46.9
八頭郡	108.6	94.0	123.1	108.1	77.8	83.2	64.4	57.3	139.7	220.8	123.1	64.1	49.9	64.2
東伯郡	129.2	111.8	119.9	98.5	96.6	160.7	135.0	121.4	97.7	101.5	119.9	117.7	58.6	134.0
西伯郡	100.5	95.0	100.3	120.0	67.9	104.6	64.2	69.6	70.2	103.2	100.3	70.5	74.4	101.0
日野郡	87.3	84.4	83.1	86.5	82.3	57.8	111.5	57.1	55.8	124.1	83.1	139.4	12.4	172.4
鳥取保健所	112.7	106.4	120.3	119.7	104.9	93.8	103.6	117.0	100.1	103.6	120.3	122.6	101.3	118.8
郡家支所	108.6	94.0	123.1	108.1	77.8	83.2	64.4	57.3	139.7	220.8	123.1	64.1	49.9	64.2
倉吉保健所	121.6	106.1	103.7	101.9	93.2	134.3	126.0	122.3	125.4	83.5	103.7	119.7	70.0	135.3
米子保健所	100.8	96.1	99.5	110.7	89.5	107.9	89.2	101.6	81.3	103.9	99.5	81.8	58.7	90.3
根雨支所	87.3	84.4	83.1	86.5	82.3	57.8	111.5	57.1	55.8	124.1	83.1	139.4	12.4	172.4
東部	111.7	103.5	121.0	116.9	98.3	91.2	94.2	102.7	109.6	132.8	121.0	108.2	90.2	107.6
中部	121.6	106.1	103.7	101.9	93.2	134.3	126.0	122.3	125.4	83.5	103.7	119.7	70.0	135.3
西部	99.2	94.8	97.6	107.9	88.7	102.1	91.7	96.6	78.4	106.4	97.6	88.7	54.4	97.4

表4 平成15年・地域別標準化死亡比(全国値=100)

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	105.3	102.9	109.8	97.7	104.1	105.6	89.5	133.5	99.6	95.5	98.9	100.5	90.3	102.9
鳥取市	100.7	93.5	99.9	60.5	110.5	100.0	143.4	118.3	93.2	76.9	87.5	97.1	96.1	142.3
米子市	104.8	113.7	120.2	96.9	111.6	86.5	89.0	133.7	97.0	128.1	105.0	101.0	131.9	94.6
倉吉市	112.7	114.4	114.6	116.8	117.1	113.3	55.1	237.0	125.8	87.6	92.2	134.6	68.5	116.6
境港市	106.6	117.4	49.2	164.2	197.0	175.3	78.4	59.5	135.6	132.1	105.4	94.0	32.1	-
岩美郡	125.0	98.7	129.8	61.9	64.7	110.2	-	76.8	147.0	100.1	137.0	118.3	44.6	75.6
気高郡	111.3	82.6	94.2	130.8	166.9	29.1	-	163.7	58.2	70.8	101.4	99.9	-	163.5
八頭郡	113.2	97.4	134.8	128.5	116.4	92.1	24.4	73.5	135.6	141.5	88.1	56.3	88.4	110.2
東伯郡	105.6	110.6	135.9	97.7	78.6	170.3	112.7	280.6	59.4	49.0	102.6	112.1	33.3	83.7
西伯郡	87.3	101.0	83.4	113.9	44.4	113.6	73.3	70.7	77.1	109.1	94.7	76.2	188.3	70.3
日野郡	107.8	76.7	102.3	56.1	56.3	24.8	193.5	-	116.9	29.7	109.5	148.6	47.0	147.3
鳥取保健所	105.9	92.7	103.6	71.1	111.8	91.0	101.9	118.3	96.3	79.6	97.1	100.8	76.3	135.1
郡家支所	113.2	97.4	134.8	128.5	116.4	92.1	24.4	73.5	135.6	141.5	88.1	56.3	88.4	110.2
倉吉保健所	108.5	112.2	127.3	105.6	94.0	146.6	89.3	262.2	86.3	64.9	98.4	121.3	48.2	97.3
米子保健所	100.4	110.8	98.9	112.2	107.3	108.1	83.1	104.7	98.1	123.5	102.3	93.0	129.7	73.0
根雨支所	107.8	76.7	102.3	56.1	56.3	24.8	193.5	-	116.9	29.7	109.5	148.6	47.0	147.3

5. 年齢階級別がん罹患率

全体的に年齢とともに増加傾向がみられるが、乳房は50歳代でピークを示し、60歳代以降は70歳代までは急激に減少し人口10万対95から58まで低下しその後横這い状態を示した。子宮は50歳代でピークを示し、60歳代以降は僅かに減少し横這い状態を示し、80歳以上で人口10万対67から40までに大きく低下した。(図7-1～図7-6)。

乳房と子宮について年齢階級別の罹患構成比を1979-83年までと1999-03年までの2つの期間に分けて比較すると、乳房では70歳以上の高齢者における罹患割合の増加が顕著であったが、子宮では39歳未満における若年層の増加が顕著であった(図8)。

図7-1 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

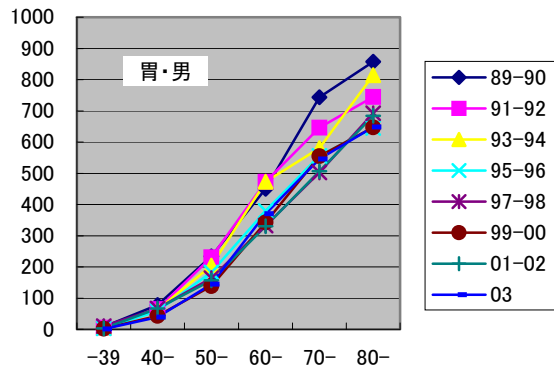


図7-2 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

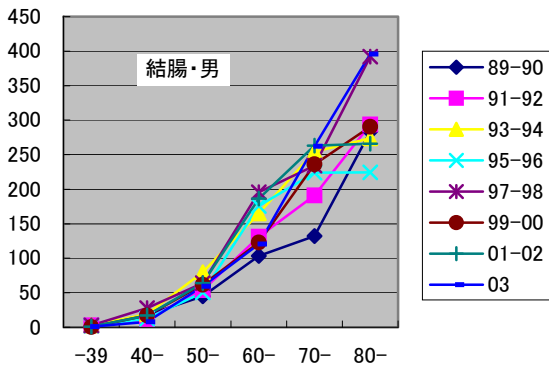


図7-3 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

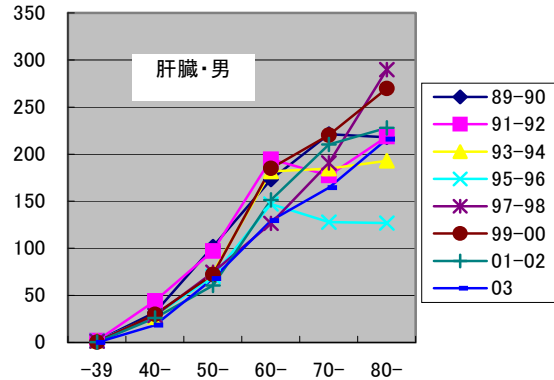


図7-4 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

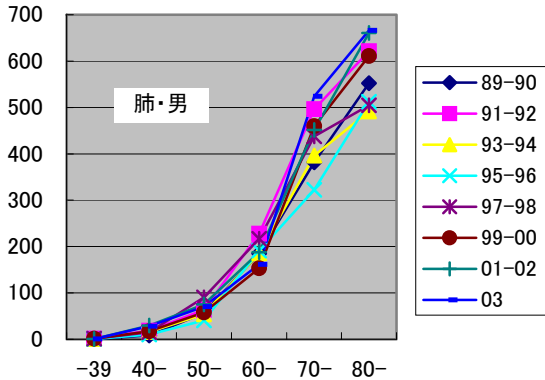


図7-5 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

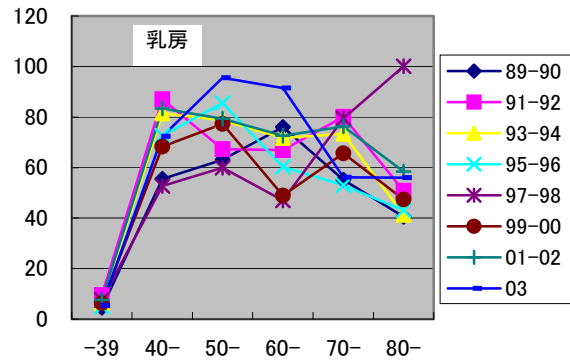
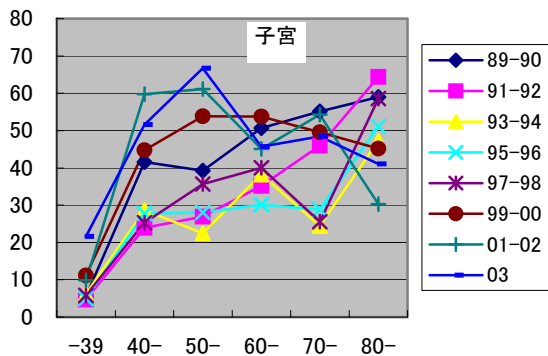


図7-6 年齢10歳階級別がん罹患率の推移



乳房 子宮

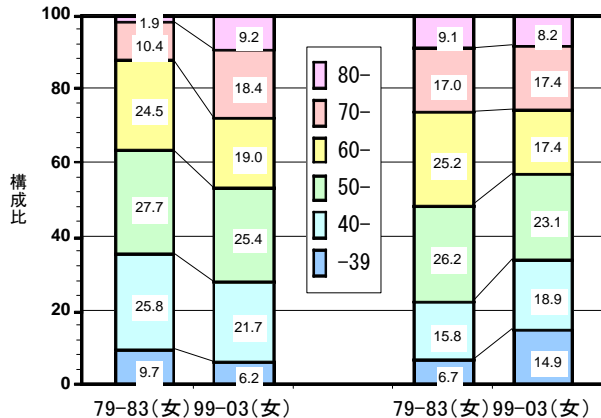


図8 年齢階級別罹患構成比の年次比較

6. がんの受療状況

a) 受療動機別集計

2006年1月から12月までの間に届出られた診断票に基づいて受療動機について集計した結果、全部位では有訴受診が最も多く、46.2%、次いで他疾患治療中（15.1%）、健康診断（人間ドック等）、各種がん検診の順となった。部位別には、有訴受診は乳房と子宮で最も高く、健康診断は胃、肺で10%以上、各種がん検診は乳房が最も高く17.9%、次いで子宮、胃の順であった。他疾患治療中は肝臓が34.1%で最も高く、次いで肺、結腸、胃の順となった。（表5-1）。

表5-1 部位別・受療動機別集計結果(%)

2006.01.01-2006.12.31までの有効届出対象(総数=3,037件)

	有訴受診	健康診断	各種がん検診	他疾患治療中	その他	計
全部位	46.2	9.1	5.9	15.1	23.7	100.0
胃	33.0	14.4	7.7	15.4	29.5	100.0
結腸	44.7	9.9	5.9	16.8	22.7	100.0
直腸	58.3	8.6	4.8	9.1	19.3	100.0
肝臓	22.7	3.6	1.4	34.1	38.2	100.0
肺	33.7	12.2	7.1	19.9	27.2	100.0
乳房	68.1	1.9	17.9	3.9	8.2	100.0
子宮	58.9	1.9	8.2	5.7	25.3	100.0

b) 受療集計

治療方法では全国に比べて鳥取県の手術実施割合は高い。部位別にみて全国に比べ鳥取県が高い部位は、以下の通りであった（表6）。

(1) 手術割合：全部位、胃、結腸、直腸、肝臓、子宮、肺

(2) 放射線治療：全部位、直腸、肝臓、肺、乳房
鳥取県における化学療法の実施割合は、高い方から肺、乳房、全部位、直腸、子宮の順となった。

表6 部位別・治療方法別患者割合(%)—2003年—

部位	手術		放射線治療		化学療法
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	63.4	59.1	11.2	9.8	24.1
胃	81.6	71.2	0.5	0.6	16.1
結腸	88.5	78.1	0.3	0.6	16.0
直腸	88.7	81.1	3.1	2.1	19.5
肝臓	24.8	19.2	6.2	2.1	17.2
肺	40.5	33.6	27.9	21.9	38.8
乳房	87.1	87.2	22.9	18.8	32.9
子宮	75.5	68.2	14.5	18.2	19.1

*全国値は2000年

7. がん患者の医療機関からの届出状況

平成18年のがん患者診断票届出総数は3,747件で前年に比較し457件の増加であった。地域別では東部で1,887件、中部で628件、西部で1,231件で、いずれも増加が顕著であった。

主要病院の届出件数の年次推移から、全体的に増加傾向にあり、東部では鳥取赤十字病院、中部では県立厚生病院、西部では労災病院の届出が前年に比し増加した。しかし、鳥取県立中央病院、鳥取市立病院、米子医療センターの届出件数は減少傾向に転じた。他方、岩美病院、日野病院、日南病院、西伯病院、済生会境港総合病院は0件であった。

大学病院、主要病院およびその他病院・診療所に3区分し、1979年から28年間の年次推移を見ると、主要病院がほぼ安定した届出でしかも近年増加傾向あるのに対して、1989年以降の大学病院の届出の減少・低迷傾向が懸念されたが、2003年より300件以上に増加し、今年はさらに400件以上になり増加傾向にある（表7）。

表7 主要医療機関、地域別届出件数の年次推移(1992年-2006年)

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
主要病院	1,469	1,360	1,599	1,167	1,329	1,696	1,273	1,385	1,339	1,505	1,786	2,226	2,751	2,392	2,568
大学病院	361	242	261	305	357	215	245	266	233	286	208	375	355	304	419
その他病院・診療所	688	591	621	646	669	493	562	602	440	525	534	459	589	594	759
東部	1,023	933	1,024	764	827	927	780	834	720	965	1,104	1,576	1,867	1,667	1,887
中部	417	339	547	481	486	451	476	462	379	414	523	436	476	513	628
西部	1,078	921	908	871	1,039	1,020	822	947	910	936	896	1,046	1,352	1,110	1,231
県全体	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747
HV/I(%)															
鳥取県	53.7	55.7	54.4	47.6	48.6	47.5	46.3	48.3	51.0	54.7	57.9	59.2	-	-	-
全国	62.0	62.6	63.1	63.0	66.0	66.9	66.9	67.9	67.9	67.6	-	-	-	-	-
DCN/I(%)															
鳥取県	24.5	28.9	27.5	28.2	24.8	31.9	36.5	36.2	36.3	32.9	26.1	28.3	-	-	-
全国	23.9	23.3	23.4	24.2	30.3	29.6	28.2	27.6	26.8	26.2	-	-	-	-	-

主要病院：県中、市立、赤十字、岩美、智頭、厚生、国立、労災、博愛、済生会、西伯、日南、日野

8. 鳥取県における登録精度

a) がん登録精度の年次推移からみた全国との比較

届出精度としてのDCNと診断精度としての罹患数における組織診実施割合(HV/I%)の2つの指標について年次推移を示す。

HV/I%は平成2年以降全国値を下回っている。

DCNは、過去全国平均より低値で良好であったが、1997年から4年間は届出件数の減少によりDCNは全国平均を上回って高値となり登録精度の低下傾向が見られた。しかし、届出勧奨により2003年の標準集計では前年より2.2%増加の28.3%となったものの、改善傾向がみられた(表8)。

なお、DCNは死亡票ではじめて登録される患者数の割合(%)を示す。がん登録研究班では、DCNは30%未満、I/D比は1.5以上の登録精度を要求している。

b) 部位別にみたDCNの比較

鳥取県における部位別DCNの年次推移を見ると、男女とも肝臓、胆嚢、膵臓、肺、腎臓およびリンパ組織で女で食道で高いDCNを示し、30-60%の間を増減推移している。造血器組織は、男で57.5%、女で70.0%と最も高い。その他の部位についても同様の傾向が見られたが、いずれもDCNは30%未満で良好であり、男の直腸、結腸、胃、膀胱、前立腺は20%前後、甲状腺は0%、女の乳房、子宮、甲状腺は20%以下を示した(表9)。

平成14年の地域別・部位別DCNにおいて、県全体では肝臓が最も高く40.3%、次いで肺の35.9%が30%以上であった。

この傾向は、市計、郡計および東・中・西部でも同様であった。一方、肝臓、肺ではほとんどの地域で30~70%となっているが、先行研究でDCNが高くては罹患率に与える影響は少ないとされるので、これらの部位についても一応市郡別比較に耐え得るものと思われる(表10)。

表8 鳥取県および全国における登録精度の年次推移

	DCN/I(%)		I/D比		HV/I(%)	
	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1
1983	31.7	33.0	1.5	1.4	35.4	48.8
1984	36.7	36.9	1.6	1.5	34.6	48.4
1987	27.9	29.7	1.7	1.5	52.5	53.7
1989	21.5	29.8	1.8	1.5	56.1	54.1
1990	28.0	23.7	1.8	1.6	47.8	61.1
1992	24.5	23.9	1.9	1.6	53.7	62.0
1995	28.2	24.2	1.7	1.6	47.6	63.0
1996	24.8	30.3	1.7	1.6	48.6	66.0
1997	31.9	29.6	1.8	1.6	47.5	66.9
1998	36.5	28.2	1.7	1.7	46.3	66.9
1999	36.2	27.6	1.8	1.7	48.3	67.9
2000	36.3	26.8	1.8	1.7	51.0	67.9
2001	32.9	26.5	1.8	1.72	54.7	67.6
2002	26.1	集計中	1.9	集計中	57.9	集計中
2003	28.3	集計中	1.9	集計中	59.2	集計中

*1: 年度により採用府県市の件数が変動

I/D比: 罹患数の死亡数に対する比

HV/I(%): 罹患患者中の組織診実施割合

表9 鳥取県における部位別登録精度の年次推移

性別	1979	1984	1990	1996	2003	性別	1979	1984	1990	1996	2003
男性						女性					
全部位	36.8	35.8	30.4	25.0	26.6	全部位	35.3	34.4	24.8	24.5	30.7
食道	57.1	34.3	27.8	18.0	26.1	食道	33.3	62.5	25.0	40.0	33.3
胃	31.6	35.2	18.5	14.1	15.1	胃	37.3	35.6	18.2	18.0	23.8
結腸	23.3	16.7	22.0	12.9	19.9	結腸	24.2	39.6	23.2	12.0	28.7
直腸	28.6	32.7	14.9	23.1	15.4	直腸	31.6	20.7	10.2	11.5	24.1
肝臓	55.6	24.6	42.6	28.6	39.2	肝臓	61.8	45.5	37.3	34.2	42.2
胆嚢	71.4	47.0	45.7	42.6	46.8	胆嚢	65.2	41.9	39.6	60.0	51.9
膵臓	65.5	58.8	36.1	29.6	42.2	膵臓	57.6	60.0	40.0	40.5	55.2
肺	43.2	41.3	40.9	48.2	35.6	肺	51.1	49.2	42.1	37.0	36.8
前立腺	38.1	45.5	45.3	15.1	19.6	乳房	18.2	16.1	9.7	9.3	9.3
膀胱	22.7	28.1	24.4	13.0	15.4	子宮	32.9	16.9	15.6	25.4	12.0
腎臓	45.5	54.5	61.9	20.0	34.9	卵巣	47.1	34.6	25.0	50.0	32.6
甲状腺	20.0	0.0	0.0	14.3	0.0	膀胱	14.3	29.4	28.6	23.1	27.6
リンパ組織	44.4	28.6	53.7	61.2	50.9	リンパ組織	25.0	33.3	52.0	42.9	50.7
造血組織	41.2	0.0	76.2	53.8	57.5	造血組織	47.1	0.0	40.0	70.0	70.0
						腎臓	25.0	16.7	53.3	36.4	37.5
						甲状腺	0.0	15.4	10.5	3.0	19.2

表10 平成15年 地域別・部位別DCN(%)

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
総計	28.3%	18.2%	24.3%	18.9%	40.3%	35.9%	9.1%	12.0%
市計	30.1%	19.1%	25.7%	17.7%	50.0%	40.8%	8.7%	10.4%
郡計	26.2%	17.0%	22.4%	20.8%	30.3%	30.8%	9.8%	14.6%
鳥取市	23.9%	14.3%	20.5%	17.6%	40.5%	34.0%	7.3%	11.4%
米子市	33.6%	22.2%	21.6%	15.2%	62.8%	50.0%	13.3%	11.5%
倉吉市	26.3%	21.3%	30.0%	15.8%	36.0%	30.2%	6.3%	7.7%
境港市	49.4%	28.0%	45.2%	37.5%	64.3%	56.5%	0.0%	0.0%
岩美郡	28.5%	22.2%	21.4%	12.5%	46.7%	38.5%	11.1%	0.0%
気高郡	24.1%	19.4%	26.7%	33.3%	25.0%	30.4%	0.0%	50.0%
八頭郡	27.9%	20.3%	20.7%	9.1%	24.3%	20.9%	11.1%	50.0%
東伯郡	19.8%	12.9%	25.4%	20.0%	14.3%	24.1%	0.0%	5.9%
西伯郡	29.6%	17.5%	22.6%	33.3%	44.4%	32.6%	21.4%	10.0%
日野郡	37.1%	12.0%	7.7%	25.0%	55.6%	52.0%	0.0%	14.3%
鳥取保健所	24.6%	16.0%	21.4%	17.7%	39.1%	34.3%	7.4%	11.6%
郡家支所	27.9%	20.3%	20.7%	9.1%	24.3%	20.9%	11.1%	50.0%
倉吉保健所	22.2%	15.9%	27.0%	18.4%	24.5%	26.7%	3.3%	6.7%
米子保健所	34.9%	21.6%	27.2%	21.2%	58.7%	45.6%	15.2%	10.3%
根雨支所	37.1%	12.0%	7.7%	25.0%	55.6%	52.0%	0.0%	14.3%
東部	25.3%	17.0%	21.3%	16.4%	34.0%	31.2%	7.8%	16.3%
中部	22.2%	15.9%	27.0%	18.4%	24.5%	26.7%	3.3%	6.7%
西部	35.1%	20.6%	25.5%	21.6%	58.3%	46.5%	14.9%	10.9%

届出精度のさらなる向上を目指して

平成 19 年度がん登録対策専門委員会記録

- 日 時 平成 19 年 7 月 26 日 (木) 午後 1 時 40 分 ~ 午後 3 時 30 分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 岡本健対協会長、岸本委員長
(25 人) 宮崎・吉中・岩垣・山下・大津・石飛・武田・北窓・国政・藤井秀樹・
紀川、岡本幹三各委員
県健康政策課：加山主幹、澤田副主幹
健対協事務局：谷口事務局長、田中主事

報 告

平成 18 年度がん登録事業報告：岡本幹三委員

1. 鳥取県における平成 15 年がん罹患・受療状況標準集計結果

- a) 罹患集計
 - (1) 罹患数
 - (2) 粗罹患率
 - (3) 年齢調整罹患率
 - (4) 年齢調整罹患率の年次推移(1988-2003 年)
 - (5) 地域別標準化罹患比(全国=100)
 - (6) 年齢階級別罹患率
- b) 受診動機別集計
- c) 受療集計
- d) がん患者の医療機関からの届出状況
- e) 登録精度
 - (1) DCN
 - (2) I/D 比
 - (3) 組織診断実施割合

2. 登録精度の向上のための届出勧奨の送付

3. 死亡登録システムおよび ICD-O-3 コード変換システムの構築

これまで、鳥取県がん登録システムには、死亡票からのがんの記載のある患者の死亡登録と ICD-O-3 コードについては搭載されていなかった。地域がん登録の標準化に即応すべく今回新たに両システムの導入を行った。

4. 鳥取県がん登録届出記入要領の改正

2006 年 6 月改訂版として、記入要領の改正を行った。「届出票の提出：3. 悪性新生物と診断されていた患者が死亡した時」を新たに追加した。

5. 平成 18 年度鳥取県がん登録事業報告書(平成 14 年集計)の印刷・配布

6. 第 15 回全国がん登録協議会総会研究会

9 月 1 日に山形県庁講堂において開催され、メインテーマは「がん対策におけるがん登録の役割」であった。

以下の質問、要望があった。

- (1) 肝臓癌の受診動機別集計によるとその他が 38.2% であるが、肝炎検査後の定期検査フォローで発見された癌が多く見ついているということなのかという質問があった。「その他」の詳細な調査を行っていないので、今後、問い合わせを行う必要がある。
- (2) がん罹患の地域別比較によると、全部位で西部地区の罹患率が低い、これは登録の届出件数が少ないことが影響しているのかという質問があった。明言出来ないが、西部地区の DCN は 35.1% で、他の地区に比べ 10% 以上高く、登録精度がよくないことは事実である。そのことが少なからず影響していると思われる。しかし、平成 19 年度より鳥取大学医学部附属病院の中のがんセンターが設置され、

年間で 1200 件以上の新規登録の届出があると予想されるので、西部地区の 1/3 はカバー出来ると思われる。よって、より正確な罹患率が出てくると期待している。

- (3) 東部地区の基幹病院の届出件数が近年減少しているが、どうしてかという質問があった。以前は既登録者の重複の届出が多かったが、初診時に届出をして頂くようお願いし、新規登録者が増加し、精度としては良くなっている。
- (4) がん検診評価として、がん登録データを活用して、偽陰性、特異度の解析を行うことは出来ないのか。偽陰性、特異度の解析を行うには、全受診者結果が必要であり、現在、各市町村に要望しているところである。

協議

1) 平成 19 年度事業計画について、以下のとおり岸本委員長より説明があり、承認された。

(1) 平成 16 年がん罹患・受療状況標準集計

罹患集計の結果は、医師会報、事業報告、ホームページとして公表する。

(2) がん検診の精度評価

市町村には各がん検診評価を行うためにがん検診受診者データの提出と基本健康診査の結果、問診の情報とがん罹患状況を調査し、生活習慣とがん罹患の関係を解明していくことを目的として、基本健康診査受診者データの提出をお願いしている。また、個人情報保護については、検診会場にチラシを掲示する等の包括同意を行うこととしている。

現在、鳥取県個人情報審議会へ諮問し、リンク解析については大筋で承認得ることができているので、市町村の承諾に向けて取り組んでいるところである。

県健康政策課より各市町村に意見を伺って頂いたところ、調査の重要性は理解出来る。がんと診断された者の情報提供は理解出来るが、全員のデータ提出には疑問があるようだ。

検診データは、鳥取県保健事業団では電子媒体で提出は可能であるが、医療機関検診は紙ベースでの提出がほとんどであり、全受診者のデータ提出は市町村にとっては、大変な作業になる。また、個人情報

保護については包括同意の方法をとるということだが、情報提供拒否した人のデータを外す作業を行うのも、市町村としては事務が繁雑になるという意見もある。

今後の対応として、以下のとおりとなった。

がん検診データの提出は、大半の市町村が理解を示して頂いているようだ。また、がん対策基本法においても、国及び地方団体においてはがん対策予防の研究推進の施策を講じることが謳われている。よって、市町村関係者にがん検診データとがん登録のリンク解析を行うことが、鳥取県民のがん対策予防にとって、非常に重要であることを理解して頂くことが大事であり、岸本委員長より市町村担当者会議等に出席して頂き、説明をして頂くこととなった。

基本健康診査のデータ提出については、かなり抵抗があるようである。平成 20 年度からは、基本健康診査は廃止され、特定健診・特定保健指導が開始されるが、データは電子媒体での報告となるが、データの流れがどのようになるのか不明瞭なところがあるので、県健康政策課においても検討して頂くこととなった。また、各保険者の承諾を頂く必要がある。

(3) 登録精度の向上のための届出勧奨、補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録

(4) 電子媒体による届出システムの構築

昨今の届け出件数の増加と、基幹病院における電子カルテの導入により電子媒体による届け出の要望が聞かれるようになってきた。今年度は入力作業の省力化と登録精度の向上を期待した電子媒体による届け出システムの構築を行っているところであり、協力可能な 13 医療機関を対象にして実施する予定である。

院内がん登録と地域がん登録の標準化は出来ないのかという質問があったが、それぞれの歴史があり、目的も違うので今すぐは難しいと思われる。県健康政策課と今後協議していくこととなった。

(5) 平成 19 年度鳥取県がん登録報告書の印刷・配布

(6) 第 16 回地域がん登録全国協議会総会研究会（広島市）への参加

[以上]

保健・医療と疫学研究における地域がん登録の役割

地域がん登録全国協議会第 16 回総会研究会

健康対策協議会・がん登録対策専門委員会

岡 本 幹 三

「保健・医療と疫学研究における地域がん登録の役割」をメインテーマとする第 16 回地域がん登録全国協議会総会研究会と実務者研修会は、9月6日（木）と7日（金）の2日間にわたって、広島市南区民文化センターにおいて開催された。6日の実務者研修会には126名が、7日の総会研究会には160名が参加した。市民公開講座には多数の市民が受講した。折しも、今年が広島市でがん登録がはじめられて丁度 50 周年になり、それに併せての開催であった。

実務者研修会

全国34府県のがん登録室の実務者を対象にした実務者研修会は、以下の4つの話題提供があった。

1. 診療情報からの地域がん登録の届出
2. 広島県の中央登録室において問題のある届出票をどう処理していくか
3. 院内がん登録のない病院が、いかに地域がん登録届出をしていくか
4. がん連携拠点病院からみた地域がん登録

以上の話題をふまえた地域がん登録の届出をめぐる現状と問題点について、各県実務担当者と話題提供者との質疑応答、意見交換があった。今後とも現場の医師と実務担当者が情報交換して、お互いに連携を深めていくことが重要であることが確認された。

総会研究会

◇会長講演「放射線影響研究における地域がん登録の貢献」

放射線影響研究所の児玉和紀先生から、広島市におけるがん登録は50周年の節目を迎え、その間「五大陸のがん罹患」へのデータ提供、放射線リスク推定、それに基づく放射線防護基準策定においても大きな貢献をしてきた。国際原子放射線影響科学委員会（UNSCEAR）の学術報告書にもがん登録を活用した多くの論文データが掲載されている。国際的に見ても、広島・長崎のがん登録データは、人類の保健・福祉に貢献し続けている。「がん登録なくしては、放射線影響は語れない」という、まとめであった。

◇シンポジウム「地域がん登録の課題と今後の展望」

基調講演では、広島県福祉保健部の迫井正深先生からがん登録の基本認識からがん登録基本法、がん対策基本計画および地域がん登録と院内がん登録の連携、広島県におけるがん登録の課題と今後の対応と考え方についての講演があった。引き続き、4人のシンポジストの話題提供があった。

1. 「地域がん登録の標準化の現状と課題」について、国立がんセンターの味木和喜子先生から説明があった。第3次対がん総合戦略研究事業において、登録手順の標準化とモニタリングの遂行と第2期からは支援地域ワクをはずして全国に支援拡大、今後数年間で地域がん登録実施 35 道府県の過半数において、標準化データベースシステムが導入される見込みである。今後は、がん統計情報の作成、報告とがん登録資料、統計情報の活用が不可欠といえる。

2. 「地域がん登録に果たす医師会の役割」について有田健一先生から広島県医師会の実態が報告された。出張採録による臨床登録、届出による臨床登録および届出による病理組織登録の現状と課題について述べられた。その中で医師会の関与の意義や役割だけでなく、関係医療機関との連携の重要性についてもふれられた。がん登録に対する医師会の役割として、がん登録の目的を明確に掲げた上で、医師が主体的にがん登録を行うことを通して、国民の健康を守ることに関与すること。医療面での学術専門団体として、がん登録の評価・活用に参画し、具体的な施策の確立に積極的に関与すること、が述べられた。
3. 「地域がん登録の法的現状と課題」について大阪府立成人病センターの田中英夫先生から地域がん登録事業法の素案（今年3月の報告書）の紹介があった。また、がん対策基本法に基づく基本計画の策定・実施における課題についてふれられた。今後、がん登録に対する国民の認知度調査を行うとともに、がん登録のあり方について更なる検討が必要である。その課題、対応策をとりまとめる事を目標とする。
4. 「がん対策推進計画策定における府県がん登録の役割」について大阪府立成人病センターの井岡亜希子先生から大阪府の事例が紹介された。

「さあはじめようがん対策」では、5つのステップを考えた。①タバコ対策、②肝炎ウイルス、③がん検診、④がん医療、⑤サーベイランスについて、マトリックスを作成して実施主体ごとに目標を定めて詳細にまとめていく。そのために、がん登録によるエビデンスに基づくインフラ整備をしながら問題解決に当たる。

まとめとして、がん対策にはがん登録は不可欠である。今後がん対策の中でのがん登録の位置づけを明確にしていくことが重要であることが提言された。

◇市民公開講座「50周年を迎えた広島のがん登録」—広島の保健・医療に不可欠ながん登録について考える—

広島市民へのがん登録に対する理解を深める目的で以下4つのテーマについての話題提供があった。

1. 広島におけるがん登録の取り組みと成果
2. 広島市医師会とがん登録—その50年の歩みと保健・医療への貢献
3. がん登録資料はそのように活用されているのか—広島県ではがんはふえているか？—
4. がん登録では個人情報はこのように守られている

このほか、9月8日（土）には広島県地域がん登録システムおよびセキュリティーの見学会があった。

報告資料3 鳥取県医師会腫瘍調査部年間集計(平成19年1月～12月)

(1)施設別登録件数

医療機関名		件数	新規登録件数
鳥取市	鳥取県立中央病院	792	560
	鳥取市立病院	515	330
	鳥取赤十字病院	410	329
	鳥取生協病院	71	52
	上田病院	1	1
	尾崎病院	1	1
	梅沢産婦人科医院	5	1
	岸田内科医院	6	6
	清水内科医院	7	5
	宍戸医院	8	7
	竹田内科医院(本町)	9	7
	野口産婦人科クリニック	10	10
	野の花診療所	108	53
	橋本外科医院	1	1
	前田医院	6	4
	松岡内科	12	9
	まつだ内科医院	10	9
	米本内科	8	6
	よろず医院	1	1
	老人保健施設やすらぎ	3	3
	森医院	9	4
	中尾医院(鹿野町)	1	1
	林医院(用瀬町)	1	1
岩美郡	岩美病院	12	11
八頭郡	若桜柿坂医院	3	2
	わかさ生協診療所	9	6
	大谷医院	3	3
東部小計		2,022	1,423
倉吉市	鳥取県立厚生病院	134	105
	野島病院	132	106
	谷口病院	22	19
	藤井政雄記念病院	97	55
	打吹公園クリニック	3	3

医療機関名		件数	新規登録件数	
倉吉市	音田内科	1	1	
	せいきょう倉吉診療所	12	9	
	山本内科医院	2	2	
東伯郡	中部医師会立三朝温泉病院	33	24	
	岡大医学部附属三朝医療センター	1	0	
	土井医院	2	2	
	赤碓診療所	19	17	
	岡本医院(北栄町)	4	4	
	宮川医院	24	17	
	中部小計		486	364
	米子市	鳥取大学医学部附属病院	1,107	738
米子医療センター		578	385	
山陰労災病院		332	268	
博愛病院		118	93	
越智内科医院		18	15	
小酒外科医院		6	6	
下山医院		5	4	
中村医院		10	10	
新田外科胃腸科病院		20	17	
循環器クリニック花園内科		10	9	
旗ヶ崎内科クリニック		11	10	
吹野内科消化器科小児科クリニック		2	2	
本田医院		5	5	
山口外科医院		4	3	
脇田産婦人科医院		5	4	
境港市	済生会境港総合病院	17	17	
	小林外科内科医院	1	1	
	たちかわ耳鼻咽喉科	1	1	
西伯郡	佐々木医院(大山町)	3	3	
日野郡	江尾診療所	5	4	
西部小計		2,258	1,595	
合計		4,766	3,382	

—医学部附属病院の都道府県がん診療連携拠点病院指定により新規登録件数約600件アップ!!—

(2) 部位別登録件数(含む重複例)

部 位	届 出 件 数	新 規 登 録 件 数
口 腔 ・ 咽 頭 癌	1 1 1	8 0
食 道 癌	1 5 2	1 0 7
胃 癌	7 9 3	5 7 3
結 腸 癌	4 8 5	3 6 3
直 腸 癌	2 4 5	1 8 9
肝 臓 癌	3 9 8	2 4 2
胆 嚢 ・ 胆 管 癌	1 2 2	8 2
膵 臓 癌	1 7 4	1 1 5
喉 頭 癌	2 6	2 0
肺 癌	6 2 1	4 0 0
皮 膚 癌	7 6	6 5
乳 癌	3 5 0	2 6 2
子 宮 癌	1 8 6	1 2 3
卵 巢 癌	7 9	4 2
前 立 腺 癌	2 3 3	1 7 4
膀 胱 癌	1 5 9	1 1 3
腎 臓 癌	1 1 4	8 3
脳 腫 瘍	3 1	2 8
甲 状 腺 癌	4 7	3 6
リ ン パ 腫	1 0 5	7 7
骨 髄 腫	2 6	2 1
造 血 組 織	6 9	5 2
そ の 他	1 6 4	1 3 5
合 計	4,766	3,382

- ・鳥取県内居住者の届出件数です。(毎月の月報は県外居住者が含まれています)
- ・届出件数 4,766 件のうち、新規登録者は 3,382 件でした。

報告資料4 鳥取県がん対策推進計画（案）（概要版）

第1 鳥取県がん対策推進計画の概要

1 計画策定の背景、趣旨

がんによる死亡は、国においては、昭和56年から死因の第1位であり、年間30万人以上の国民が亡くなっています。また、鳥取県においても、がん死亡は、昭和57年以降死因の第1位となっています。平成18年のがん死亡者数は、全死亡の28.9%を占め、県民の生命や生活の質を脅かす重大な問題となっています。

国は、がん対策を一層推進するため、平成19年4月1日「がん対策基本法」を施行するとともに、平成19年度から23年度までの「がん対策推進基本計画」を策定しました。

本県においても、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図り、「がん患者を含めた県民ががんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指すため、「鳥取県がん対策推進計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

この計画の実現のため、県民、市町村、医療保険者、がん診療連携拠点病院（以下、「がん拠点病院」という。）・がん診療を行う医療機関、関係団体等が一体となり、がん対策に取り組む必要があります。

なお、本計画は、国のがん対策推進基本計画を基本とし、鳥取県保健医療計画、鳥取県健康づくり文化創造プラン、鳥取県介護保険事業支援計画と調和をとりつつ、本県におけるがん医療提供の状況を踏まえて策定しています。

2 計画の期間

本計画は、平成20年度から平成24年度までの5か年計画とし、その評価を行い、必要に応じて見直しを行うものです。

なお、本県では、各年ごとの計画進捗状況を確認し、「がん対策推進計画検討委員会」において、その評価を行うものとします。

3 計画の体系図

別紙体系図のとおり

第3 全体目標

- 1 がんによる死亡者の減少（75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少）
 - 2 すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上
- ※目標期限【10年以内】

現状と課題

がんは、昭和57年以降死因の第1位であり、がんによる死亡数は高齢化とともに増加していきと推測されます。今後、がん医療を中心としつつ、がんの予防やがんの早期発見等分野別施策を総合的・計画的に推進することにより、がんによる死亡者を減少させる必要があります。

がん患者の多くは、疼痛などの身体的な苦痛だけでなく、がんと診断された時から不安や抑うつ等精神心理的な苦痛を抱えています。また、家族も同様に様々な苦痛を抱えています。がん患者は、安心・納得のいく医療の提供を望んでおり、緩和ケアやがん医療を充実し、がんに関する相談支援や情報提供により、療養生活の維持向上を目指す必要があります。

施策の柱

本県におけるがん対策を実効あるものとしてより推進していくためには、がん対策の中で不十分な分野における取組に重点を置いて実施していくとともに、高齢化に伴いがんによる死亡者数が今後とも増加していくことが推測される一方で、食生活の欧米化等により、がんの種類に変化が見られる中、県民は、がん医療を中心としたがん対策のより一層の推進を求めています。

こうしたことから、今後のがん対策については、「がんによる死亡者の減少」及び「すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上」を全体目標とし、「がん医療の推進」を中心としつつ、「医療機関の連携体制づくり」、「がん医療に関する相談支援及び情報提供体制の充実」、「がん登録の推進」、「がん予防の推進」、「がんの早期発見」、「がんの研究の推進」などの分野別施策を定め、総合的かつ計画的に実施していくこととします

施策の方向性

がんによる死亡者の減少に向けて、がん医療の推進における手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を実施していくため、手術と比較して相対的に遅れている放射線療法及び化学療法の充実、がん予防の推進における喫煙、食生活、運動に重点をおいた生活習慣の改善、がんの早期発見におけるがん検診受診率、精密検査受診率の向上、がん登録の推進、がん対策に資する研究の実施についての方向性を定めています。

また、すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上に向けて、治療の初期段階からの緩和ケアの実施、在宅医療体制づくりの推進、がんに関する情報提供、相談支援体制の充実及び地域連携クリティカルパスを活用した医療機関の連携体制づくりについてその方向性を定めています。

第4 重点的に取り組むべき課題

1 放射線療法及び化学療法の推進及び専門医師等の育成

本県における5大がん（肺がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・乳がん）の手術療法は、がん拠点病院やその他病院においても既に実施され、がん治療の中心を担ってきました。

現在は、がんの種類や病期によっては放射線療法や化学療法による治療効果も発揮できるようになり、各治療法を集学的に行える医療機関が求められています。

しかし、本県では、専門的ながん医療を担う医師、看護師、薬剤師、放射線技師等の医療従事者が少なく、今後人材確保や育成に取り組む必要があります。

2 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

がん患者とその家族が可能な限り質の高い療養生活を送れるようにするために、緩和ケアは、治療初期の段階から行われるとともに、診断・治療・在宅医療などさまざまな場面で切れ目なく実施される必要があります。

本県においては、緩和ケアの重要性の認識が医療従事者、県民とも不十分であること病院における緩和ケア提供体制の充実や、より質の高い緩和ケアを実施していくための緩和ケアに関する専門的な知識や技能を有する医師や看護師等の医療従事者を育成していく必要があります。

また、がん患者の意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養も選択できるよう、在宅医療の充実を図る必要がありますが、在宅医療資源も地域により偏在しており、在宅療養を支える医療従事者の確保や実施体制を整備していく必要があります。

3 がん予防と早期発見の推進

がんに罹る可能性は、男性は2人に1人、女性は3人に1人と言われ「国民病」であると言っても過言ではなく、県民全体が「がんを身近なもの」として認識する必要があります。

がんの医療水準は年々向上し、早期発見すれば5年生存率は改善してきているにもかかわらず、「がん検診」受診率は低迷をしている現状であります。

今後、がんによる死亡者を29年度までに20%減少させるためには、がん検診の受診率を50%以上にするための抜本的な向上対策に取り組む必要があります。

4 がん登録の推進

がん登録は、がん患者の罹患、転帰その他の状況を把握、分析する仕組みであります。がんの罹患率、生存率などががん対策の立案・評価に際し基礎となるデータを把握・提供するとともに、科学的知見に基づくがん医療を提供するため、院内がん登録の更なる推進が求められています。

資料 1 - 1 部位別・受診動機別集計結果（実数）

2006. 01. 01-2006. 12. 31までの有効届出対象

	有訴受診	健康診断 (人間ドック等)	各種がん検診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	1403	275	179	459	721	3037
口腔・咽頭	24	4	1	4	7	40
食道	39	15	2	10	21	87
胃	223	97	52	104	199	675
結腸	136	30	18	51	69	304
直腸	109	16	9	17	36	187
肝臓	50	8	3	75	84	220
胆嚢	35	8	2	11	29	85
膵臓	53	1		15	31	100
肺	105	38	22	62	85	312
皮膚	23	0	0	1	2	26
乳房	141	4	37	8	17	207
子宮	93	3	13	9	40	158
卵巣	44		1	4	5	54
前立腺	87	38	18	31	23	197
膀胱	52	4		15	14	85
腎臓	38	3	0	10	10	61
甲状腺	11	3	1	8	9	32
その他	140	3	0	24	40	207

資料 1 - 1 部位別・受診動機別集計結果（％）

2006. 01. 01-2006. 12. 31までの有効届出対象

	有訴受診	健康診断 (人間ドック等)	各種がん検診	他疾患 治療中	その他	計
全部位	46.2	9.1	5.9	15.1	23.7	100.0
口腔・咽頭	60.0	10.0	2.5	10.0	17.5	100.0
食道	44.8	17.2	2.3	11.5	24.1	100.0
胃	33.0	14.4	7.7	15.4	29.5	100.0
結腸	44.7	9.9	5.9	16.8	22.7	100.0
直腸	58.3	8.6	4.8	9.1	19.3	100.0
肝臓	22.7	3.6	1.4	34.1	38.2	100.0
胆嚢	41.2	9.4	2.4	12.9	34.1	100.0
膵臓	53.0	1.0	0.0	15.0	31.0	100.0
肺	33.7	12.2	7.1	19.9	27.2	100.0
皮膚	88.5	0.0	0.0	3.8	7.7	100.0
乳房	68.1	1.9	17.9	3.9	8.2	100.0
子宮	58.9	1.9	8.2	5.7	25.3	100.0
卵巣	81.5	0.0	1.9	7.4	9.3	100.0
前立腺	44.2	19.3	9.1	15.7	11.7	100.0
膀胱	61.2	4.7	0.0	17.6	16.5	100.0
腎臓	62.3	4.9	0.0	16.4	16.4	100.0
甲状腺	34.4	9.4	3.1	25.0	28.1	100.0
その他	67.6	1.4	0.0	11.6	19.3	100.0

資料 1 - 2 部位別・診断方法の割合(旧届出票)

- 2003年診断 -

部位	X線	内視鏡	組織診	細胞診	R I	超音波	剖検	臨床経過	C T	その他
全部位	42.5%	44.3%	77.2%	17.9%	7.1%	30.6%	0.0%	1.8%	43.2%	11.8%
口腔・咽頭	13.8%	20.7%	89.7%	6.9%	10.3%	10.3%	0.0%	3.4%	58.6%	10.3%
食道	44.8%	75.9%	84.5%	5.2%	3.4%	27.6%	0.0%	0.0%	50.0%	6.9%
胃	57.1%	89.8%	91.9%	4.7%	0.8%	20.7%	0.0%	0.8%	31.7%	3.3%
結腸	57.0%	75.1%	85.9%	4.0%	1.1%	19.5%	0.0%	1.8%	41.2%	7.6%
直腸	59.8%	75.6%	89.6%	4.9%	1.8%	17.7%	0.0%	1.8%	28.7%	7.3%
肝臓	17.0%	8.9%	18.5%	3.0%	11.9%	63.0%	0.0%	2.2%	91.1%	46.7%
胆嚢・胆管	30.0%	16.0%	22.0%	14.0%	0.0%	48.0%	0.0%	0.0%	74.0%	30.0%
膵臓	25.6%	21.8%	19.2%	11.5%	3.8%	53.8%	0.0%	7.7%	89.7%	29.5%
喉頭	30.0%	55.0%	95.0%	0.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	60.0%	5.0%
肺	57.0%	16.3%	70.9%	38.0%	12.0%	6.2%	0.0%	1.6%	68.2%	10.1%
皮膚	9.5%	0.0%	100.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%
乳房	72.2%	2.3%	60.2%	69.2%	17.3%	72.2%	0.0%	3.0%	36.8%	7.5%
子宮	9.5%	8.6%	85.7%	54.3%	1.9%	19.0%	0.0%	1.9%	9.5%	17.1%
卵巣	23.1%	3.8%	88.5%	15.4%	3.8%	30.8%	0.0%	3.8%	30.8%	3.8%
前立腺	13.7%	3.6%	95.2%	5.4%	18.5%	51.8%	0.0%	1.2%	17.9%	20.2%
膀胱	15.9%	75.0%	90.9%	33.0%	6.8%	59.1%	0.0%	2.3%	22.7%	1.1%
腎など	43.2%	27.3%	77.3%	34.1%	18.2%	61.4%	0.0%	0.0%	75.0%	2.3%
脳など	18.8%	0.0%	68.8%	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	75.0%	37.5%
甲状腺	32.0%	0.0%	60.0%	60.0%	12.0%	68.0%	0.0%	0.0%	48.0%	0.0%
リンパ腫	23.4%	25.5%	91.5%	12.8%	12.8%	25.5%	0.0%	2.1%	38.3%	8.5%
骨髄腫	33.3%	11.1%	77.8%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%
造血組織	8.7%	0.0%	78.3%	30.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	13.0%

資料 1 - 2 部位別診断方法の割合(新届出票)

- 2003年診断 -

部位	原発巣の組織診	転移巣の組織診	細胞診	部位特異的な腫瘍マーカー	臨床検査	臨床所見のみ
全部位	72.0%	1.9%	6.2%	3.3%	11.4%	0.5%
口腔・咽頭	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食道	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
胃	89.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
結腸	86.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
直腸	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
肝臓	26.7%	0.0%	6.7%	26.7%	46.7%	0.0%
胆嚢・胆管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
膵臓	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%
肺	60.5%	4.7%	16.3%	0.0%	7.0%	0.0%
皮膚	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
乳房	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
子宮	57.1%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
卵巣	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
前立腺	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
腎など	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
甲状腺	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
リンパ腫	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
骨髄腫	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
造血組織	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

資料 1 - 3 病巣の拡がり

- 2003年診断 -

	病巣の拡がり						
	上皮内	限局	所属リンパ節	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明	合計
全部位	7.9%	40.3%	14.2%	9.6%	14.8%	13.1%	100.0%
口腔・咽頭	0.0%	32.0%	60.0%	0.0%	8.0%	0.0%	100.0%
食道	3.5%	36.8%	29.8%	12.3%	15.8%	1.8%	100.0%
胃	18.1%	30.4%	17.3%	3.9%	13.3%	17.1%	100.0%
結腸	9.7%	36.1%	16.7%	6.9%	19.9%	10.6%	100.0%
直腸	5.4%	42.9%	22.3%	6.3%	14.3%	8.9%	100.0%
肝臓	0.0%	74.6%	0.8%	5.9%	9.3%	9.3%	100.0%
胆嚢・胆管	4.9%	29.3%	7.3%	24.4%	22.0%	12.2%	100.0%
膵臓	5.0%	11.7%	8.3%	36.7%	38.3%	0.0%	100.0%
喉頭	5.6%	66.7%	11.1%	0.0%	5.6%	11.1%	100.0%
肺	0.8%	27.5%	19.2%	11.7%	23.4%	17.4%	100.0%
皮膚	38.9%	50.0%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	100.0%
乳房	2.1%	48.5%	21.6%	1.0%	12.4%	14.4%	100.0%
子宮	24.8%	40.0%	3.8%	13.3%	1.9%	16.2%	100.0%
卵巣	0.0%	22.2%	3.7%	55.6%	14.8%	3.7%	100.0%
前立腺	0.0%	57.5%	1.3%	13.1%	7.8%	20.3%	100.0%
膀胱	6.5%	77.9%	1.3%	5.2%	2.6%	6.5%	100.0%
腎など	2.6%	60.5%	7.9%	2.6%	21.1%	5.3%	100.0%
脳など	0.0%	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
甲状腺	0.0%	30.0%	40.0%	15.0%	10.0%	5.0%	100.0%
その他	2.2%	30.3%	12.4%	16.9%	19.1%	19.1%	100.0%

資料2-1 部位別・治療方法別患者割合(%)

—2003年診断

部位	ICD-10	手術		放射線治療		化学療法
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	C00-C96 D05-D06	63.4	59.1	11.2	9.8	24.1
胃	C16	81.6	71.2	0.5	0.6	16.1
結腸	C18	88.5	78.1	0.3	0.6	16.0
直腸	C19-C21	88.7	81.1	3.1	2.1	19.5
肝臓	C22	24.8	19.2	6.2	2.1	17.2
肺	C33-C34	40.5	33.6	27.9	21.9	38.8
乳房	C50 D05	87.1	87.2	22.9	18.8	32.9
子宮	C53-C55 D06	75.5	68.2	14.5	18.2	19.1

*全国値は2000年

資料2-2 治療状況の年次推移

手術

—2003年診断

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	68.1%	80.6%	89.8%	86.9%	25.2%	28.7%	94.3%	70.1%
91-92	69.7%	82.8%	88.8%	90.5%	27.8%	35.3%	94.5%	47.3%
93-94	71.5%	79.3%	92.8%	87.6%	28.7%	46.8%	92.7%	62.2%
95-96	69.9%	80.9%	89.1%	87.9%	35.5%	30.5%	88.3%	62.3%
97-98	69.1%	80.2%	87.3%	88.0%	39.9%	42.0%	89.8%	63.2%
99-00	68.8%	80.5%	90.4%	91.1%	40.0%	36.4%	92.3%	76.8%
01-02	69.2%	82.7%	90.4%	93.5%	31.8%	45.3%	82.2%	81.1%
03	63.4%	81.6%	88.5%	88.7%	24.8%	40.5%	87.1%	75.5%

放射線療法

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	10.6%	0.3%	1.3%	0.4%	14.7%	33.6%	3.6%	43.5%
91-92	9.4%	0.4%	0.2%	1.1%	20.7%	28.3%	3.9%	25.3%
93-94	7.6%	0.5%	0.4%	1.3%	2.5%	27.1%	10.9%	31.1%
95-96	8.1%	0.5%	0.0%	2.9%	1.9%	29.9%	17.5%	22.6%
97-98	8.4%	0.8%	0.2%	1.6%	2.5%	22.1%	20.4%	23.2%
99-00	10.2%	0.6%	0.6%	2.3%	4.8%	29.3%	18.0%	23.2%
01-02	9.8%	0.2%	0.3%	1.4%	5.4%	21.0%	22.9%	18.8%
03	11.2%	0.5%	0.3%	3.1%	6.2%	27.9%	22.9%	14.5%

化学療法

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	35.2%	27.8%	32.9%	34.1%	48.1%	45.3%	60.9%	25.2%
91-92	27.9%	22.5%	28.8%	31.0%	44.0%	27.4%	53.9%	4.4%
93-94	22.8%	15.4%	20.8%	22.2%	30.3%	32.9%	36.5%	8.9%
95-96	20.0%	14.3%	16.7%	24.3%	23.4%	28.7%	43.3%	3.8%
97-98	20.0%	15.5%	17.5%	22.8%	18.5%	28.5%	33.3%	9.5%
99-00	20.9%	17.9%	20.0%	26.1%	18.8%	23.9%	34.7%	19.9%
01-02	22.5%	16.4%	13.7%	24.9%	14.0%	36.1%	32.0%	25.4%
03	24.1%	16.1%	16.0%	19.5%	17.2%	38.8%	32.9%	19.1%

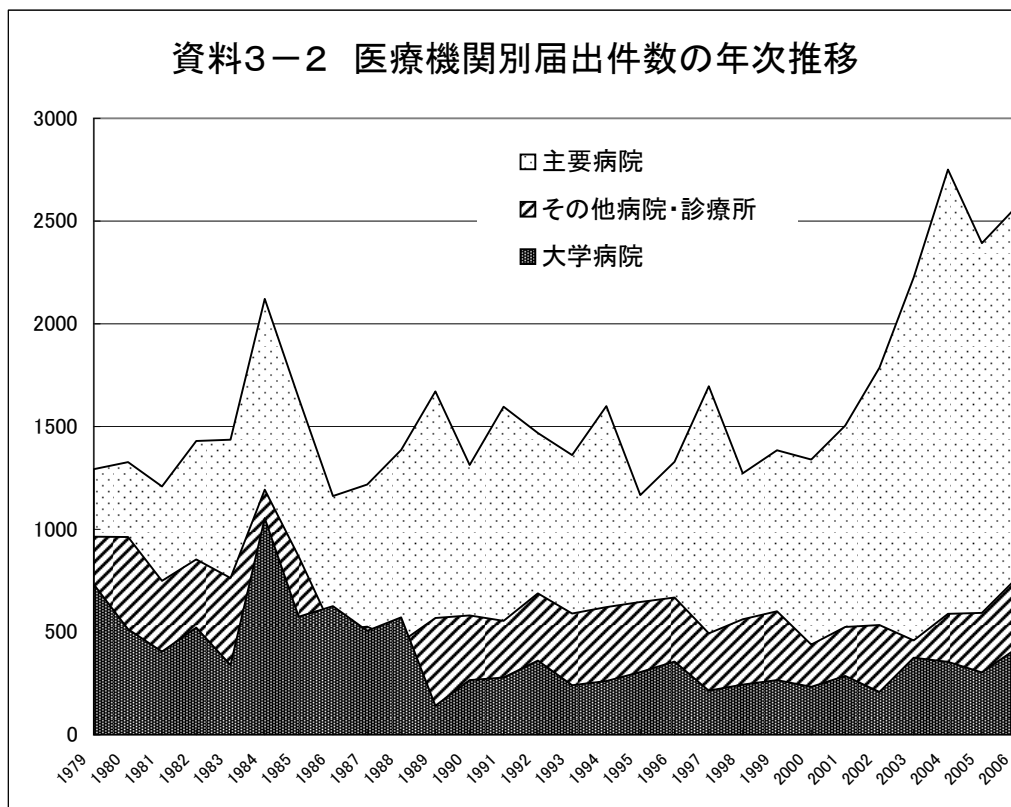
資料3-1 主要病院別届出件数の年次推移

	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
鳥取県立中央病院	308	408	390	561	473	666	561	464	378	436
鳥取市立病院	114	108	95	70	78	129	114	64	68	120
鳥取赤十字病院	208	186	122	225	255	392	245	171	218	212
岩美病院	11	7	0	9	8	22	15	0	3	20
智頭病院	25	21	15	11	70	69	28	17	20	48
鳥取県立厚生病院	173	185	216	151	212	314	288	279	261	250
米子医療センター	144	134	142	175	114	144	101	36	25	96
山陰労災病院	73	57	62	47	62	119	95	30	15	69
博愛病院	113	103	51	71	25	65	66	2	134	36
済生会境港総合病院	54	66	52	40	60	89	48	51	48	58
西伯病院	5	21	19	17	26	32	31	21	21	24
日南病院	30	15	31	35	36	50	39	19	21	11
日野病院	35	16	13	18	17	31	7	8	6	7
主要病院	1293	1327	1208	1430	1436	2122	1638	1162	1218	1387
大学病院	732	514	405	522	339	1054	575	626	507	572
その他病院・診療所	964	962	749	853	764	1,193	868	510	526	452
全県届出数	2,989	2,803	2,362	2,805	2,539	4,369	3,081	2,298	2,251	2,411

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
鳥取県立中央病院	447	394	516	380	224	381	255	287	368	278
鳥取市立病院	292	118	149	159	265	211	116	283	274	160
鳥取赤十字病院	254	83	209	182	170	226	170	45	116	132
岩美病院	37	38	21	32	22	13	22	7	7	36
智頭病院	36	24	16	0	10	6	0	0	0	2
鳥取県立厚生病院	258	260	221	221	196	326	248	195	292	267
米子医療センター	30	1	0	92	25	0	8	36	140	30
山陰労災病院	232	230	321	303	249	291	266	298	237	170
博愛病院	2	63	46	23	87	30	0	20	127	95
済生会境港総合病院	48	56	30	33	48	44	37	28	1	1
西伯病院	22	25	21	25	33	52	38	74	80	68
日南病院	13	16	24	15	32	19	7	21	9	12
日野病院	0	5	23	4	0	0	0	35	45	22
主要病院	1671	1313	1597	1469	1361	1599	1167	1329	1696	1273
大学病院	142	267	279	361	242	261	305	357	215	245
その他病院・診療所	569	581	555	688	590	621	646	669	493	562
全県届出数	2,382	2,161	2,431	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006		
鳥取県立中央病院	298	262	370	164	518	512	351	321		
鳥取市立病院	188	171	214	502	700	860	635	578		
鳥取赤十字病院	102	124	206	284	221	267	431	665		
岩美病院	35	17	7	9	3	23	3	0		
智頭病院	0	0	0	8	0	4	4	3		
鳥取県立厚生病院	227	218	213	261	213	202	274	298		
米子医療センター	208	227	217	262	249	545	352	222		
山陰労災病院	144	208	168	218	225	200	236	449		
博愛病院	94	31	67	28	66	108	97	32		
済生会境港総合病院	9	5	0	10	0	5	0	0		
西伯病院	53	54	30	25	21	22	9	0		
日南病院	12	21	13	15	9	3	0	0		
日野病院	15	1	0	0	1	0	0	0		
主要病院	1385	1339	1505	1786	2226	2751	2392	2568		
大学病院	266	233	286	208	375	355	304	419		
その他病院・診療所	602	440	525	534	459	589	594	760		
全県届出数	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695	3,290	3,747		

資料3-2 医療機関別届出件数の年次推移



資料3-3 2006年主要病院・部位別届出集計

	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	前立腺	膀胱	腎臓	甲状腺	リンパ腫	多発性骨	白血病	その他	合計
鳥取県立中央病院	6	62	27	12	31	10	11	50	15	23	5	10	6	2	7	1	9	34	321
鳥取市立病院	21	104	43	32	34	21	17	81	45	15	46	27	21	8	15	5	8	35	578
鳥取赤十字病院	16	132	85	34	63	18	20	80	82	21	21	12	13	5	3	1	1	58	665
岩美病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
智頭病院	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
鳥取県立厚生病院	8	61	25	8	25	11	8	65	35	19	3	1	2	7	4	1	1	14	298
鳥取大学附属病院	16	67	27	32	44	5	12	1	11	87	0	0	1	12	12	0	0	92	419
国立米子病院	3	40	27	27	6	2	6	39	13	0	18	13	10	1	3	1	1	12	222
山陰労災病院	13	147	51	41	26	15	17	28	6	0	55	18	14	2	4	0	0	12	449
博愛病院	1	14	0	6	3	0	1	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	1	32
済生会境港総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西伯病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日南病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部	58	373	198	100	175	64	65	239	156	62	78	54	45	17	32	10	18	143	1887
中部	16	144	57	30	49	18	22	81	45	23	61	23	5	9	11	5	3	26	628
西部	36	306	115	111	83	24	40	76	35	88	83	31	27	15	19	1	2	139	1231
鳥取県	110	823	370	241	307	106	127	396	237	173	222	108	77	41	62	16	23	308	3747

資料４－１ 鳥取県における組織診実施割合（HV/I％）の年次推移

男性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	33.4	32.4	35	34.5	51.1	45.5	53.9	48.3	47.3	46.9	46.2	51.3	54.8	57.7	60.8
食道	14.3	40.7	50	48.6	63	50	58.5	68.9	62.7	60.3	50.0	63.6	68.6	67.8	65.2
胃	41.8	38.1	47.1	44.6	72.4	67.2	76	67.5	63.4	66.6	61.9	68.4	68.1	73.8	78.0
結腸	43.3	28.6	34.5	34.5	53.1	54	77.7	68.2	57.6	62.5	61.1	73.1	71.9	70.7	69.1
直腸	28.6	41.2	35.7	28.1	61.6	52.7	77	58.7	65.1	57.9	64.4	71.7	68.8	80.2	79.5
肝臓	4.4	2.4	3.3	11.3	10.4	5.8	9.3	13.6	9.3	11.4	14.6	16.3	9.1	10.6	13.1
胆嚢	21.4	12.5	9.1	5.9	45.2	11.4	16.7	14.9	19.5	14.0	8.3	38.5	22.2	16.7	14.9
膵臓	17.2	10	12.1	13.6	10.9	11.5	19.1	13	25.0	15.7	10.8	8.3	15.5	12.3	16.7
肺	16.8	17.5	26.5	31.6	46.8	38.3	38.8	32.8	39.3	36.2	41.9	39.6	48.8	52.8	55.1
前立腺	23.8	33.3	5.3	13.6	47.5	39.6	34.7	58.1	48.2	52.4	63.2	68.6	69.8	81.7	76.6
膀胱	54.5	41.7	24.1	25	44.1	53.7	61	22.2	55.4	41.9	55.7	56.5	52.3	72.0	80.8
腎臓	45.5	15.4	28.6	0	26.3	23.8	38.2	23.3	37.9	29.6	41.4	31.3	42.4	51.1	53.5
甲状腺	40	57.1	80	33.3	75	100	87.5	71.4	85.7	62.5	83.3	100.0	50.0	42.9	100.0
リンパ組織	44.4	43.3	32	61.9	32.3	26.83	40.43	32	36.6	41.2	22.7	26.9	36.6	56.0	45.3
造血器組織	23.5	21.4	25	7.7	33.3	9.52	19.05	30.8	26.3	14.3	15.4	29.4	36.7	23.1	37.5

女性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	38.6	39.8	38.0	38.4	54.4	50.7	58.2	49.2	47.9	45.6	51.3	50.6	54.5	58.2	57.0
食道	0.0	0.0	28.6	37.5	33.3	37.5	66.7	60.0	71.4	63.6	22.2	46.2	75.0	50.0	46.7
胃	37.3	41.1	35.8	44.1	67.9	67.4	77.5	68.6	55.7	62.7	57.0	60.9	62.5	67.8	69.2
結腸	36.4	20.0	41.0	28.3	66.7	35.8	68.2	61.3	54.0	54.1	63.5	57.3	65.3	67.4	60.1
直腸	34.2	26.9	46.2	55.2	46.7	67.8	75.0	67.9	59.7	64.4	57.8	62.3	69.4	66.7	64.6
肝臓	0.0	0.0	6.1	9.1	12.0	9.8	17.0	9.2	11.4	10.0	9.9	13.9	10.4	3.9	12.2
胆嚢	17.4	9.1	7.7	29.0	32.4	29.2	24.6	20.0	11.9	11.5	26.7	19.1	12.1	6.3	19.2
膵臓	12.1	7.4	11.5	6.7	10.5	8.6	14.9	19.0	10.0	6.5	17.2	20.0	7.0	14.3	11.9
肺	17.0	20.0	12.8	30.5	45.1	38.2	33.3	43.2	40.0	34.0	35.9	46.4	38.2	51.9	49.3
乳房	69.7	70.5	69.5	58.6	74.4	69.3	82.3	56.8	74.6	73.1	82.6	76.2	83.7	83.3	87.4
子宮	40.5	63.5	51.9	44.9	68.5	74.0	65.7	34.9	63.6	59.1	81.7	80.2	81.9	81.9	84.9
卵巣	41.2	45.5	17.6	23.1	68.2	42.9	31.6	29.2	38.7	35.7	46.9	40.5	59.6	68.9	60.5
膀胱	42.9	30.0	50.0	17.6	27.3	50.0	20.0	30.8	36.8	29.4	57.1	43.8	69.2	69.2	58.6
腎臓	25.0	100.0	55.6	16.7	23.1	26.7	38.5	9.1	40.9	6.3	25.0	27.3	50.0	38.1	45.8
甲状腺	81.4	78.6	75.0	65.4	81.6	68.4	87.8	63.6	85.7	85.7	78.1	80.0	71.4	89.7	73.1
リンパ組織	66.7	26.1	52.2	44.4	43.5	16.0	39.3	41.1	38.6	33.3	25.8	51.3	28.6	56.0	44.8
造血器組織	35.3	0.0	15.8	57.1	27.3	20.0	50.0	20.0	13.0	4.4	42.9	5.6	13.3	36.4	30.0

資料4-2 鳥取県における部位別登録精度(DCN)の年次推移

男性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	36.8	30.6	34.5	35.8	29.4	30.4	30.4	25.0	31.0	35.4	37.2	35.8	32.3	25.7	26.6
食道	57.1	29.6	20.0	34.3	14.8	27.8	22.0	18.0	23.7	34.5	35.7	27.3	25.6	18.6	26.1
胃	31.6	26.3	33.6	35.2	17.7	18.5	17.8	14.1	17.7	20.1	23.8	25.8	18.0	14.8	15.1
結腸	23.3	11.4	27.6	16.7	23.4	22.0	14.0	12.9	15.2	19.6	21.1	19.2	18.2	15.2	19.9
直腸	28.6	29.4	26.2	32.7	24.7	14.9	8.9	23.1	16.5	23.2	21.2	18.5	25.0	8.1	15.4
肝臓	55.6	59.0	56.0	24.6	45.9	42.6	50.3	28.6	48.2	42.4	50.6	50.3	56.7	37.4	39.2
胆嚢	71.4	62.5	45.5	47.0	35.5	45.7	35.4	42.6	43.9	55.8	60.0	38.5	52.8	52.4	46.8
膵臓	65.5	63.3	57.6	58.8	50.0	36.1	52.4	29.6	50.0	62.8	62.2	70.0	54.9	45.2	42.2
肺	43.2	32.5	33.3	41.3	39.2	40.9	48.1	48.2	47.6	55.0	51.5	53.4	44.9	36.7	35.6
前立腺	38.1	14.3	26.3	45.5	30.0	45.3	44.0	15.1	37.4	26.8	19.1	20.2	25.0	13.3	19.6
膀胱	22.7	12.5	24.1	28.1	26.5	24.4	29.3	13.0	7.1	23.3	17.7	14.5	27.7	17.3	15.4
腎臓	45.5	30.8	14.3	54.5	36.8	61.9	35.3	20.0	20.7	40.7	24.1	31.3	33.3	31.9	34.9
甲状腺	20.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	14.3	14.3	25.0	16.7	0.0	50.0	28.6	0.0
リンパ組織	44.4	36.7	48.0	28.6	45.2	53.7	55.3	61.2	63.4	52.9	72.7	69.2	58.5	44.0	50.9
造血器組織	41.2	35.7	50.0	0.0	37.5	76.2	47.6	53.8	63.2	81.0	76.9	47.1	63.3	69.2	57.5

女性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	35.3	29.5	31.1	34.4	26.0	24.8	26.8	24.5	33.0	38.1	34.9	37.1	33.7	26.6	30.7
食道	33.3	0.0	42.9	62.5	33.3	25.0	0.0	40.0	14.3	27.3	66.7	30.8	25.0	33.3	33.3
胃	37.3	33.5	34.2	35.6	22.9	18.2	17.6	18.0	22.9	24.9	27.8	31.1	25.9	22.4	23.8
結腸	24.2	27.5	25.6	39.6	14.7	23.2	18.6	12.0	21.7	23.3	20.3	29.7	22.2	20.2	28.7
直腸	31.6	42.3	46.2	20.7	33.3	10.2	12.5	11.5	22.8	17.0	23.4	26.1	24.2	12.8	24.1
肝臓	61.8	59.4	54.5	45.5	48.0	37.3	39.0	34.2	54.3	61.1	63.4	55.7	59.7	42.1	42.2
胆嚢	65.2	59.1	65.4	41.9	37.8	39.6	50.9	60.0	54.8	53.9	48.3	60.3	63.8	70.8	51.9
膵臓	57.6	77.8	57.7	60.0	44.7	40.0	57.5	40.5	50.0	62.9	51.7	53.8	57.9	50.0	55.2
肺	51.1	34.5	31.9	49.2	33.8	42.1	44.4	37.0	45.8	52.4	48.4	46.4	53.4	32.1	36.8
乳房	18.2	3.8	8.5	16.1	6.7	9.7	4.6	9.3	10.7	13.1	9.9	16.2	9.5	10.3	9.3
子宮	32.9	10.6	13.6	16.9	26.0	15.6	26.9	25.4	29.9	37.9	17.4	17.9	13.3	9.5	12.0
卵巣	47.1	22.7	41.2	34.6	22.7	25.0	57.9	50.0	51.6	57.1	46.9	40.5	31.9	17.8	32.6
膀胱	14.3	20.0	50.0	29.4	45.5	28.6	60.0	23.1	47.4	47.1	23.8	31.3	23.1	23.1	27.6
腎臓	25.0	0.0	0.0	16.7	38.5	53.3	38.5	36.4	40.9	50.0	58.3	40.9	27.3	38.1	37.5
甲状腺	0.0	7.1	0.0	15.4	5.3	10.5	4.9	3.0	14.3	14.3	15.6	20.0	21.4	3.4	19.2
リンパ組織	25.0	34.8	34.8	33.3	43.5	52.0	53.6	42.9	43.2	63.9	72.6	48.7	69.4	44.0	50.7
造血器組織	47.1	69.2	63.2	0.0	22.7	40.0	33.3	70.0	82.6	91.3	50.0	88.9	86.7	54.5	70.0

資料5-3 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成15年 総数)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級											粗罹患率	調整罹患率	H/I (%)	DCN/I (%)
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+	不詳				
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	3438	2	3	19	57	152	458	732	1201	811	3	562.6	312.7	59.2	28.3
全部位*2	C00-C96 (140-208)	3419	2	3	19	52	143	454	731	1201	811	3	559.5	309.1	59.0	28.5
口唇、口腔および咽頭 口唇、口腔 咽頭	C00-C14 (140-149) C00-C08 (140-145) C09-C14 (146-149)	40 18 22	0 0 0	0 0 0	1 1 1	2 3 4	7 6 6	12 5 6	10 2 5	8 2 6	0 0 0	0	6.5 2.9 3.6	4.0 1.9 2.1	67.5 72.2 63.6	27.5 27.8 27.3
食道 胃 小腸 結腸 直腸および肛門 肝および肝内胆管 胆嚢および肝外胆管 膵臓 その他の消化器	C15 (150) C16 (151) C17 (152) C18 (153) C19-C21 (154) C22 (155) C23-C24 (156) C25 (157) C26 (159)	84 677 11 379 196 243 99 157 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 6 0 3 0 0 0 4 0	4 27 0 6 13 8 0 22 0	20 88 3 45 40 36 3 0 0	19 169 2 70 55 61 20 29 0	26 234 3 147 58 83 34 53 1	15 151 3 107 29 55 41 48 0	0	13.7 110.8 1.8 62.0 32.1 39.8 16.2 25.7 0.2	8.2 60.2 0.9 31.2 19.9 21.8 7.3 13.0 0.1	61.9 74.9 45.5 64.6 73.5 12.8 17.2 14.6 100.0	27.4 18.2 27.3 24.3 18.9 40.3 49.5 47.8 0.0	
鼻腔、中耳および副鼻腔 喉頭 気管、気管支および肺 胸腺、心および縦隔 その他の呼吸系および胸腔内臓器	C30-C31 (160) C32 (161) C33-C34 (162) C37-C38 (164) C39 (165)	12 23 459 8 0	0 0 0 0 0	0 1 0 0 0	1 1 2 1 0	0 3 13 40 0	5 7 88 2 0	1 3 194 3 0	2 10 122 1 0	3 1 0 0 0	0	2.0 3.8 75.1 1.3 0.0	1.3 2.4 37.6 0.9 0.0	58.3 82.6 53.4 50.0 0.0	41.7 13.0 35.9 25.0 0.0	
骨および関節軟骨 皮膚の悪性黒色腫 皮膚のその他の悪性新生物 胸膜 カポジ肉腫 後腹膜および腹膜 結合組織およびその他の軟部組織	C40-C41 (170) C43 (172) C44 (173) C45 (163) C46 C48 (158) C47 C49 (171)	5 5 24 7 0 4 6	0 0 0 0 0 0 1	2 0 1 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 2	0 0 0 0 0 1 0	0 0 0 1 0 0 0	2 0 4 1 0 1 0	0 0 8 3 0 2 0	1 1 11 2 0 1 2	0	0.8 0.8 3.9 1.1 0.0 0.7 1.0	0.7 0.3 1.8 0.6 0.0 0.3 0.8	20.0 20.0 83.3 28.6 0.0 50.0 50.0	60.0 60.0 16.7 71.4 0.0 25.0 50.0	
乳房(上皮内がんを含む) 子宮(上皮内がんを含む) 子宮 子宮頸 子宮体 子宮、部位不明 卵巣 その他及び部位不明の女性生殖器官 胎盤	C50 D05 (174-175 2330) C53-C55 D06 (179-180 182 2331) C53-C55 (179-180 182) C53 (180) C54 (182) C55 (179) C56 (1830) C51-C52 C57 (183-184 1830は除 く) C58 (181)	154 126 107 65 36 6 43 7	0 0 0 0 0 0 0 0	0 6 6 6 0 0 2 0	7 22 17 16 1 0 2 0	28 20 11 9 12 0 12 7	43 30 26 13 13 0 2 7	37 18 17 4 8 0 12 0	23 19 19 9 2 8 12 6	16 11 11 8 0 3 0 6	0	25.2 20.6 17.5 10.6 5.9 1.0 7.0 1.1 0.0	19.2 18.0 14.5 9.7 4.3 0.4 4.8 0.6 0.0	87.0 84.9 82.2 87.7 86.1 0.0 60.5 85.7 0.0	9.1 12.0 14.2 10.8 8.3 83.3 32.6 14.3 0.0	
前立腺 睾丸 陰茎およびその他の男性生殖器官 腎など 腎臓、腎盂を除く 膀胱	C61 (185) C62 (186) C60 C63 (187) C64-C66 C68 (189) C64 (1890) C67 (188)	214 4 4 67 37 107	0 0 0 0 0 0	0 1 0 0 0 0	0 1 0 1 0 2	2 0 0 7 3 18	7 48 2 17 10 7	48 2 2 26 14 47	106 0 1 26 14 33	51 0 1 16 10 33	0	35.0 0.7 0.7 11.0 6.1 17.5	16.4 0.6 0.3 5.5 2.9 8.4	76.6 100.0 50.0 50.7 40.5 74.8	19.6 0.0 50.0 35.8 43.2 18.7	
眼 脳など 脳 髄膜およびその他の中枢神経系	C69 (190) C70-C72 (191-192) C71 (191) C70 C72 (192)	0 26 26 0	0 0 0 0	0 1 1 0	0 1 1 0	0 3 5 3	0 5 9 5	0 6 9 6	0 6 6 0	0 0 0 0	0	0.0 4.3 4.3 0.0	0.0 2.5 2.5 0.0	0.0 46.2 46.2 0.0	0.0 42.3 42.3 0.0	
甲状腺 その他の内分泌腺 その他および不明確な部位 続発部位および原発部位不詳	C73 (193) C74-C75 (194) C76 (195) C77-C80 (196-199)	31 2 2 31	0 0 0 0	0 0 0 1	1 0 0 1	7 0 0 3	6 0 0 2	4 1 0 12	8 0 0 2	5 1 0 11	0	5.1 0.3 0.3 5.1	3.6 0.2 0.3 2.6	77.4 50.0 50.0 29.0	16.1 50.0 50.0 67.7	
リンパ組織 ホジキンリンパ腫 非ホジキンリンパ腫 その他のリンパ組織 多発性骨髄腫	C81-C90 C96 (200-203) C81 (201) C82-C85 (200) C96 (202) C88-C90 (203)	120 3 74 2 41	1 0 1 0 0	0 0 3 0 0	3 2 2 4 0	5 1 4 4 1	6 1 11 1 6	18 0 27 1 17	46 1 27 1 17	39 0 22 0 17	0	19.6 0.5 12.1 0.3 6.7	10.2 0.4 6.8 0.2 2.8	45.0 100.0 55.4 100.0 19.5	50.8 0.0 40.5 0.0 75.6	
白血病 リンパ性白血病 骨髄性白血病 単球性白血病 その他の明示された白血病 細胞形態不明の白血病	C91-C95 (204-208) C91 (204) C92 (205) C93 (206) C94 (207) C95 (208)	60 13 40 1 0 6	1 0 0 0 0 1	0 0 1 1 0 0	3 1 3 0 0 0	1 4 7 10 0 1	17 6 10 11 0 3	18 9 7 11 0 1	9 4 1 7 0 0	0	9.8 2.1 6.5 0.2 0.0 1.0	6.2 1.4 4.0 0.2 0.0 0.6	35.0 30.8 35.0 100.0 0.0 33.3	61.7 69.2 62.5 0.0 0.0 50.0		

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む *2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない

I: 罹患数 H: 組織診実施数 DCN: 死亡情報で初めて把握されたもの

資料6 平成15年・市町村別罹患数

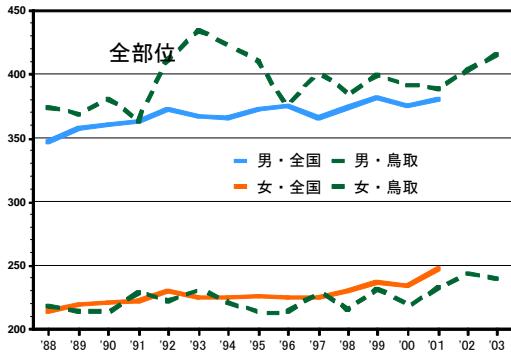
市町村	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	1,997	1,441	437	240	191	188	117	79	153	90	323	136	151	125
市計	1,097	823	242	135	117	101	70	54	82	42	163	75	100	77
郡計	900	618	195	105	74	87	47	25	71	48	160	61	51	48
鳥取市	436	330	108	53	49	34	28	23	26	16	63	31	53	35
米子市	391	300	94	50	36	38	27	19	26	17	53	25	30	26
倉吉市	169	120	27	20	15	15	11	8	21	4	29	14	15	13
境港市	101	73	13	12	17	14	4	4	9	5	18	5	2	3
岩美郡	81	70	17	10	6	8	7	1	10	5	15	11	9	6
岩美町	41	37	10	3	1	5	3	1	5	3	9	11	5	1
国府町	23	24	4	5	3	2	2	-	1	1	5	-	3	3
福部村	17	9	3	2	2	1	2	-	4	1	1	-	1	2
気高郡	90	51	18	13	8	7	1	2	9	3	18	5	4	2
青谷町	36	17	7	6	4	1	-	-	4	2	6	2	1	1
気高町	34	22	8	6	-	2	-	1	5	-	7	3	3	1
鹿野町	20	12	3	1	4	4	1	1	-	1	5	-	-	-
八頭郡	189	123	47	22	15	14	7	4	20	17	35	8	9	6
河原町	19	18	3	2	1	3	1	-	2	3	3	1	1	2
郡家町	37	23	12	3	5	3	2	-	5	4	6	3	3	-
智頭町	39	20	10	4	1	2	1	-	2	1	12	-	3	2
八東町	20	20	6	5	1	1	2	-	3	2	2	3	-	1
船岡町	23	6	6	2	1	-	-	-	3	-	4	-	-	1
用瀬町	23	10	3	1	5	2	1	3	3	2	4	-	-	-
若桜町	18	20	3	3	1	2	-	1	2	5	3	1	2	-
佐治村	10	6	4	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
東伯郡	290	191	59	26	24	35	19	11	18	10	39	19	14	17
赤碕町	32	24	9	2	2	4	-	-	1	-	3	3	1	2
関金町	24	9	1	1	1	2	2	1	4	1	2	1	-	1
大栄町	45	30	7	5	5	1	4	1	3	3	7	6	2	4
東郷町	37	21	9	3	3	4	4	3	1	1	6	2	3	2
東伯町	48	37	9	7	6	10	4	1	1	3	5	1	2	1
羽合町	25	18	6	1	1	4	1	1	2	-	4	1	2	4
北条町	31	20	9	1	4	4	2	-	-	1	6	3	2	-
三朝町	37	22	6	5	2	4	2	2	6	1	4	2	1	3
泊村	11	10	3	1	-	2	-	2	-	-	2	-	1	-
西伯郡	173	128	38	25	13	18	7	5	10	8	37	9	14	10
会見町	12	10	2	3	-	1	1	-	2	2	1	-	1	-
岸本町	21	15	8	3	-	4	2	1	-	-	4	2	-	1
西伯町	23	30	4	8	-	3	-	-	2	3	5	2	4	1
大山町	26	23	4	5	6	4	1	-	4	-	5	1	4	3
名和町	27	16	8	2	5	3	-	2	-	1	4	1	1	3
中山町	17	10	2	-	-	-	1	-	1	1	3	1	2	-
淀江町	32	20	7	2	1	3	2	2	1	-	12	2	2	2
日吉津村	15	4	3	2	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-
日野郡	77	55	16	9	8	5	6	2	4	5	16	9	1	7
江府町	16	12	4	2	1	2	1	-	2	1	3	2	-	3
日南町	33	16	7	4	6	1	2	-	1	2	9	2	-	1
日野町	19	6	4	-	-	1	2	-	1	-	2	1	1	1
溝口町	9	21	1	3	1	1	1	2	-	2	2	4	-	2
鳥取保健所	607	451	143	76	63	49	36	26	45	24	96	47	66	43
郡家支所	189	123	47	22	15	14	7	4	20	17	35	8	9	6
倉吉保健所	459	311	86	46	39	50	30	19	39	14	68	33	29	30
米子保健所	665	501	145	87	66	70	38	28	45	30	108	39	46	39
根雨支所	77	55	16	9	8	5	6	2	4	5	16	9	1	7
東部	796	574	190	98	78	63	43	30	65	41	131	55	75	49
中部	459	311	86	46	39	50	30	19	39	14	68	33	29	30
西部	742	556	161	96	74	54	44	30	49	35	124	48	47	46

資料 8 - 2 平成 15 年・標準化死亡比 (全国 = 100)

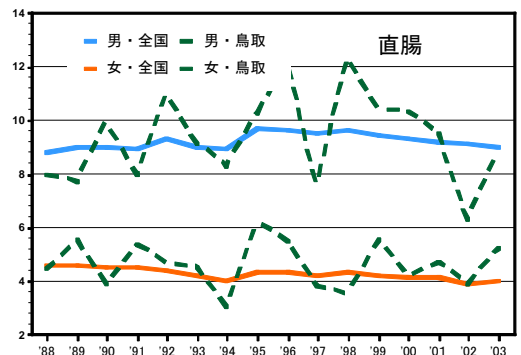
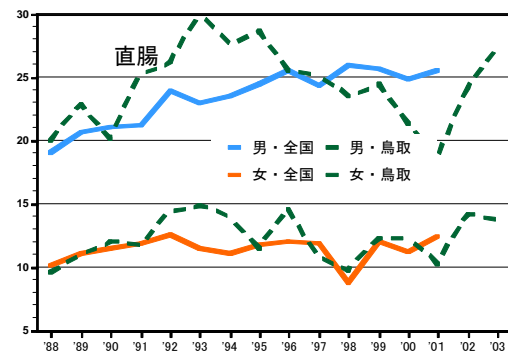
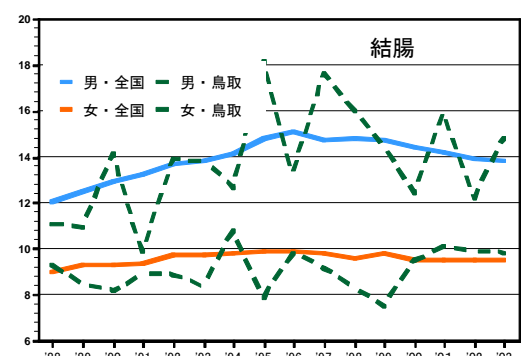
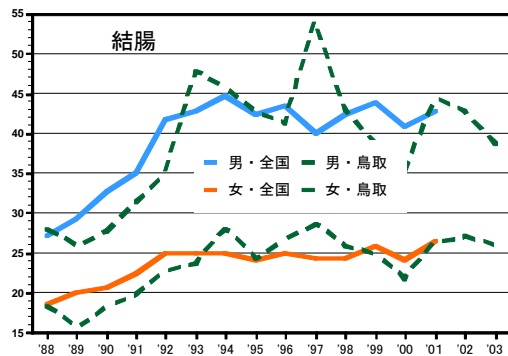
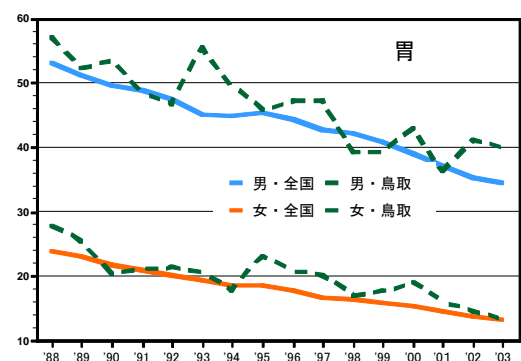
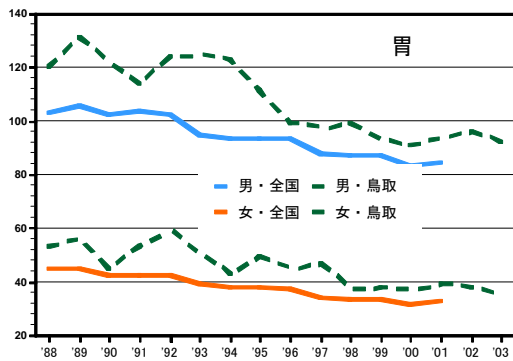
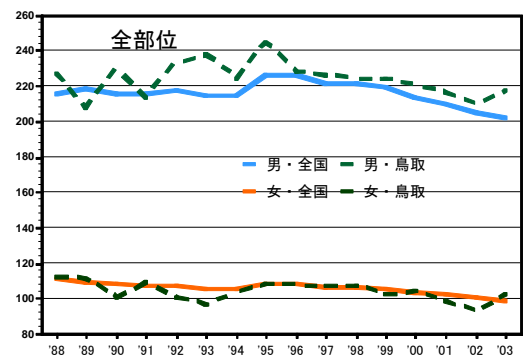
	総数		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	105.3	102.9	109.8	97.7	104.1	105.6	89.5	133.5	99.6	95.5	98.9	100.5	90.3	102.9
鳥取市	100.7	93.5	99.9	60.5	110.5	100.0	143.4	118.3	93.2	76.9	87.5	97.1	96.1	142.3
米子市	104.8	113.7	120.2	96.9	111.6	86.5	89.0	133.7	97.0	128.1	105.0	101.0	131.9	94.6
倉吉市	112.7	114.4	114.6	116.8	117.1	113.3	55.1	237.0	125.8	87.6	92.2	134.6	68.5	116.6
境港市	106.6	117.4	49.2	164.2	197.0	175.3	78.4	59.5	135.6	132.1	105.4	94.0	32.1	-
岩美郡	125.0	98.7	129.8	61.9	64.7	110.2	-	76.8	147.0	100.1	137.0	118.3	44.6	75.6
岩美町	118.7	104.7	138.2	72.0	-	96.0	-	134.6	130.8	58.1	155.7	164.9	80.5	-
国府町	111.0	102.7	40.4	64.3	202.0	86.1	-	-	57.2	105.2	152.2	74.1	-	237.0
福部村	195.8	55.9	342.5	-	-	269.5	-	-	481.5	318.5	-	-	-	-
気高郡	111.3	82.6	94.2	130.8	166.9	29.1	-	163.7	58.2	70.8	101.4	99.9	-	163.5
青谷町	108.5	103.0	35.1	295.9	87.3	-	-	-	50.6	94.4	157.4	134.6	-	225.2
気高町	142.4	71.8	173.0	55.3	258.8	74.1	-	-	97.3	-	104.7	126.9	-	201.6
鹿野町	62.1	68.8	59.8	-	148.1	-	-	724.6	-	158.7	-	-	-	-
八頭郡	113.2	97.4	134.8	128.5	116.4	92.1	24.4	73.5	135.6	141.5	88.1	56.3	88.4	110.2
河原町	95.4	70.2	148.0	121.1	92.3	80.6	-	-	53.3	97.7	27.7	-	-	-
郡家町	115.1	64.7	100.4	56.1	83.5	75.1	137.0	-	333.0	-	76.3	128.7	-	-
智頭町	109.8	104.5	182.2	239.2	75.5	127.1	-	-	43.7	153.4	159.7	54.5	112.7	183.8
八東町	54.8	106.7	159.3	-	-	247.5	-	-	77.6	145.1	-	-	207.0	349.7
船岡町	178.4	153.0	207.5	118.2	-	-	-	-	197.0	189.4	157.2	135.1	256.4	436.7
用瀬町	201.9	124.4	65.1	252.2	647.2	-	-	939.0	290.4	-	195.0	-	264.6	-
若桜町	77.4	124.7	49.9	171.7	123.8	114.0	-	-	-	543.5	37.2	97.2	-	-
佐治村	118.7	65.5	172.9	-	-	-	-	-	126.7	-	64.2	-	-	-
東伯郡	105.6	110.6	135.9	97.7	78.6	170.3	112.7	280.6	59.4	49.0	102.6	112.1	33.3	83.7
赤碕町	119.2	117.2	138.2	-	85.7	229.4	-	216.5	50.9	-	104.2	131.6	-	-
関金町	94.5	103.5	-	243.3	-	-	-	458.7	98.1	-	51.4	272.5	-	-
大栄町	109.8	58.7	166.9	-	82.6	-	279.7	-	-	-	127.1	132.6	-	-
東郷町	135.5	117.0	87.2	291.8	215.7	97.3	184.5	552.5	-	-	131.2	83.6	-	557.1
東伯町	89.4	150.9	98.9	207.8	-	332.2	102.8	467.3	71.1	135.0	111.4	47.6	92.4	155.3
羽合町	116.7	78.5	181.1	-	225.7	178.3	186.2	-	65.1	-	102.7	77.6	-	-
北条町	133.5	154.8	257.8	-	106.6	312.8	177.3	-	125.9	124.7	197.2	267.1	-	-
三朝町	79.4	49.4	176.9	56.3	-	-	-	212.8	103.5	-	26.7	-	132.8	-
泊村	52.3	237.1	-	165.0	-	439.6	-	1250.0	-	261.8	-	187.3	-	-
西伯郡	87.3	101.0	83.4	113.9	44.4	113.6	73.3	70.7	77.1	109.1	94.7	76.2	188.3	70.3
会見町	68.3	148.9	-	129.5	-	-	-	-	227.3	212.8	-	-	819.7	480.8
岸本町	112.9	89.2	188.1	77.7	-	207.9	190.8	-	-	126.9	142.6	178.3	-	-
西伯町	89.8	117.3	37.3	229.8	-	153.0	-	-	105.5	190.7	84.4	-	-	-
大山町	90.3	101.2	131.2	139.7	217.6	92.6	-	263.9	254.6	113.6	98.8	-	475.4	-
名和町	54.5	109.7	70.1	105.7	86.9	70.1	-	203.7	-	89.5	26.5	122.2	133.2	211.4
中山町	53.5	92.8	51.7	92.3	-	-	-	-	77.0	146.4	78.0	-	205.3	-
淀江町	110.8	74.5	71.5	57.1	-	152.1	292.8	-	-	-	190.2	197.1	-	-
日吉津村	149.0	81.2	124.4	-	-	253.8	-	-	-	-	95.1	-	383.1	-
日野郡	107.8	76.7	102.3	56.1	56.3	24.8	193.5	-	116.9	29.7	109.5	148.6	47.0	147.3
江府町	87.8	94.6	63.8	-	158.7	-	545.0	-	280.1	-	47.6	246.3	263.9	-
日南町	141.4	68.8	94.7	52.3	78.2	69.2	273.2	-	139.5	81.8	162.5	118.0	-	-
日野町	125.4	51.7	103.8	-	-	-	-	-	76.5	-	116.1	100.9	-	348.4
溝口町	56.8	96.8	141.5	146.1	-	-	-	-	-	-	70.0	167.2	-	293.3
鳥取郡	105.9	92.7	103.6	71.1	111.8	91.0	101.9	118.3	96.3	79.6	97.1	100.8	76.3	135.1
郡家	113.2	97.4	134.8	128.5	116.4	92.1	24.4	73.5	135.6	141.5	88.1	56.3	88.4	110.2
倉吉	108.5	112.2	127.3	105.6	94.0	146.6	89.3	262.2	86.3	64.9	98.4	121.3	48.2	97.3
米子	100.4	110.8	98.9	112.2	107.3	108.1	83.1	104.7	98.1	123.5	102.3	93.0	129.7	73.0
根雨	107.8	76.7	102.3	56.1	56.3	24.8	193.5	-	116.9	29.7	109.5	148.6	47.0	147.3

資料9-3 年齢調整罹患率・年齢調整死亡率の年次推移 (鳥取県・全国の比較)

罹患率(人口10万対)

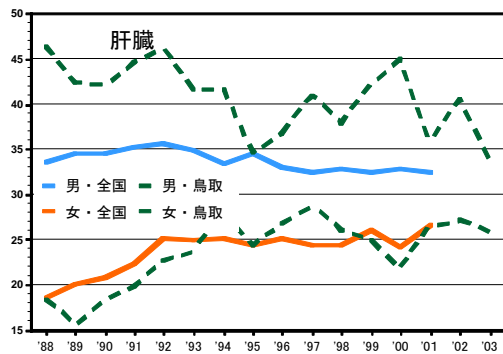


死亡率(人口10万対)

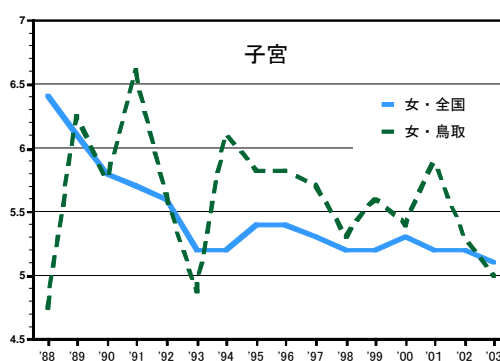
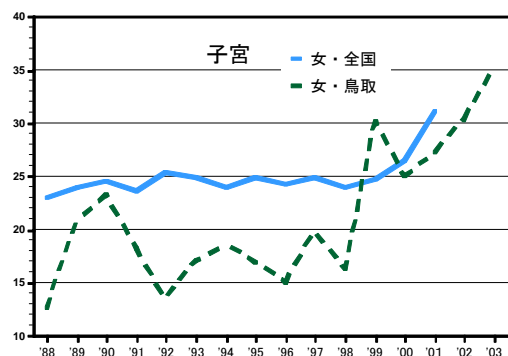
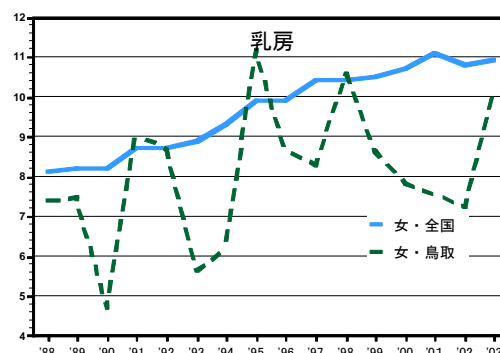
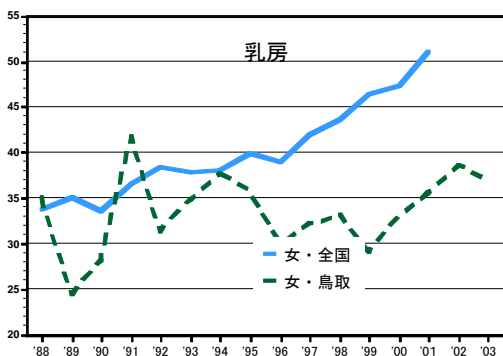
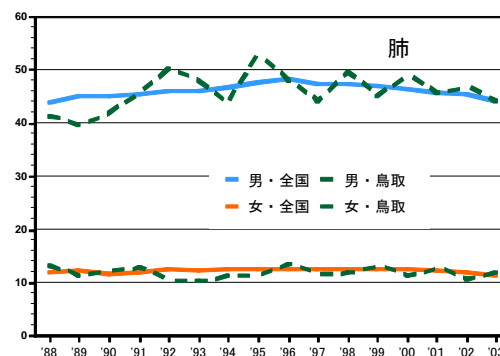
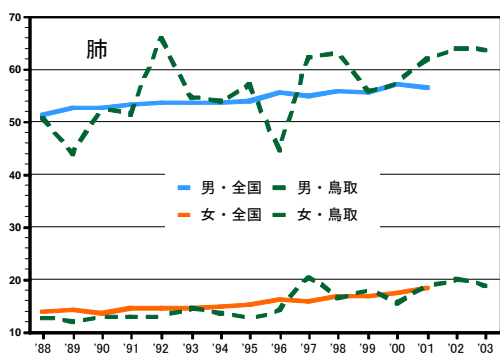
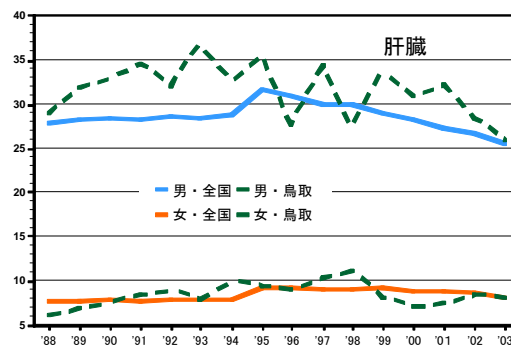


資料9-4 年齢調整罹患率・年齢調整死亡率の年次推移 (鳥取県・全国の比較一つづき)

罹患率(人口10万対)



死亡率(人口10万対)



資料10-1 主要部位・性別罹患数の年次推移（東部・中部・西部）

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県東部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	男	660	621	611	672	697	586	522	586	620	602	680	673	725	742	796
	女	448	423	425	469	434	399	394	442	463	467	466	500	512	535	574
胃	男	233	193	179	186	192	174	146	153	135	165	157	154	175	184	190
	女	126	100	104	141	117	81	96	101	110	75	85	103	94	97	98
結腸	男	45	39	50	55	61	60	50	63	76	56	55	46	74	72	78
	女	43	30	35	47	41	54	53	45	57	51	51	53	63	63	63
直腸	男	40	30	35	44	49	37	38	43	39	36	46	29	36	44	43
	女	23	25	25	34	23	22	26	35	20	27	22	25	26	34	30
肝臓	男	82	83	82	83	74	40	39	52	59	49	68	84	68	78	65
	女	28	23	26	38	31	16	22	35	22	45	27	36	40	39	41
肺	男	79	88	98	113	109	93	88	88	109	100	107	108	132	126	131
	女	24	28	31	31	23	24	22	35	55	41	36	44	42	44	55
乳房	女	48	43	57	42	48	56	37	36	47	51	43	60	54	63	75
子宮	女	34	36	33	23	36	29	30	37	32	30	44	36	33	36	49

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県中部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	男	303	300	311	338	324	370	341	306	378	352	424	365	360	409	459
	女	241	248	270	231	244	256	283	242	272	277	283	293	272	291	311
胃	男	111	96	90	105	110	101	103	76	102	109	98	91	90	88	86
	女	65	56	65	63	52	54	74	49	54	61	51	44	44	49	46
結腸	男	16	22	18	26	37	36	29	39	43	36	32	36	32	42	39
	女	21	21	25	22	31	32	33	32	28	30	29	29	32	31	50
直腸	男	18	23	16	20	27	25	25	18	20	22	23	18	16	11	30
	女	13	11	10	19	17	16	10	14	14	13	14	17	14	15	19
肝臓	男	34	21	30	36	32	43	22	35	31	27	46	38	33	39	39
	女	12	12	17	12	10	18	18	20	19	17	16	19	12	18	14
肺	男	49	45	58	56	39	50	58	30	67	60	56	56	57	62	68
	女	14	18	26	16	22	18	33	20	24	28	36	28	25	28	33
乳房	女	23	28	25	25	30	39	30	34	29	33	34	33	40	31	29
子宮	女	10	23	12	12	12	12	18	11	26	19	15	25	32	23	30

主要部位・性別罹患数の年次推移（鳥取県西部）

		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全部位	男	436	548	597	642	675	608	572	613	663	637	669	725	700	739	742
	女	386	408	473	464	452	400	381	403	476	409	518	477	528	570	556
胃	男	136	172	167	186	204	182	159	174	165	138	152	153	145	167	161
	女	80	67	117	108	95	84	99	94	97	71	87	88	94	99	96
結腸	男	39	44	59	53	70	64	65	68	104	92	87	74	96	84	74
	女	34	44	47	54	64	61	39	73	76	63	68	56	72	84	54
直腸	男	23	27	44	41	38	40	38	43	43	37	35	45	28	56	44
	女	18	26	23	26	28	32	24	29	23	19	27	27	22	29	30
肝臓	男	47	62	62	56	69	74	57	60	72	80	64	81	63	62	49
	女	19	23	25	22	21	27	20	20	29	26	28	24	25	19	35
肺	男	50	69	72	101	83	66	64	75	91	105	97	104	114	117	124
	女	37	40	33	36	32	34	24	26	41	33	56	38	64	59	48
乳房	女	34	43	77	57	57	51	61	48	46	45	43	37	53	62	47
子宮	女	35	38	22	24	16	13	13	15	19	14	49	44	40	57	46

資料 1 1 第 1 期基準モニタリング項目収集による 2001 年(平成 13 年)

全国がん罹患数・罹患率の推定

部位	推計 死亡数	全国 死亡数	補正 係数	罹患数	粗罹患率	年齢調整罹患率		DCO/I (%) *6	I/D	H/I (%) *6
						世界人口*4	日本人口*5			
男										
全部位*1	178226	180976	1.02	325213	524.7	269.3	380.6	14.4	1.80	73.7
全部位*2	178226	180976	1.02	325205	524.7	269.3	380.6	14.4	1.80	73.7
口腔・咽頭	3615	3786	1.05	6984	11.3	6.3	8.5	11.1	1.84	83.9
食道	8539	9022	1.06	13840	22.3	11.5	16.0	12.5	1.53	80.8
胃	31829	32260	1.01	72267	116.6	59.8	84.5	12.4	2.24	83.3
結腸	11653	12421	1.07	36582	59.0	30.3	42.8	9.3	2.95	84.6
直腸	7835	7960	1.02	21557	34.8	18.5	25.5	8.2	2.71	86.5
肝臓	22552	23595	1.05	27727	44.7	23.2	32.3	24.2	1.18	29.0
胆嚢・胆管	7152	7091	0.99	8297	13.4	6.3	9.4	21.8	1.17	47.3
膵臓	10704	10470	0.98	11243	18.1	9.1	13.0	24.9	1.07	33.5
喉頭	976	941	0.98	3189	5.1	2.6	3.7	7.0	3.39	87.7
肺	40776	39903	0.98	49427	79.7	38.1	56.6	19.9	1.24	71.4
皮膚*3	528	532	1.03	4022	6.5	3.3	4.7	5.2	7.56	94.4
前立腺	7102	7645	1.08	23548	38.0	17.2	26.2	12.1	3.08	78.1
膀胱	3284	3458	1.06	12055	19.4	9.6	13.9	9.3	3.49	84.2
腎など	3171	3251	1.03	8041	13.0	7.0	9.6	12.0	2.47	75.4
脳・神経系	874	911	1.06	2440	3.9	2.8	3.3	23.5	2.68	70.8
甲状腺	435	426	1.03	1758	2.8	1.7	2.2	9.1	4.13	89.5
リンパ腫	4792	4717	0.99	7634	12.3	6.9	9.4	13.4	1.62	84.6
多発性骨髄腫	1794	1790	1.01	2059	3.3	1.6	2.4	25.9	1.15	70.9
白血病	4319	4101	0.95	4997	8.1	5.3	6.4	17.8	1.22	82.3
女										
全部位*1	113819	119034	1.05	243568	375.7	184.2	247.4	14.5	2.05	73.8
全部位*2	113819	119034	1.05	235489	363.2	173.9	234.8	14.9	1.98	73.0
口腔・咽頭	1480	1425	0.97	2628	4.1	1.9	2.6	13.5	1.84	81.2
食道	1505	1651	1.1	2483	3.8	1.5	2.1	21.4	1.50	72.8
胃	17261	17691	1.03	35459	54.7	23.4	32.8	15.6	2.00	79.6
結腸	11440	12014	1.05	29213	45.1	18.9	26.5	13.2	2.43	79.1
直腸	4538	4794	1.06	12785	19.7	9.0	12.4	9.8	2.67	83.4
肝臓	10476	10714	1.02	12745	19.7	7.6	10.9	27.6	1.19	24.4
胆嚢・胆管	8579	8473	0.99	9549	14.7	4.9	7.3	28.6	1.13	38.7
膵臓	9011	8926	0.99	9424	14.5	5.3	7.8	28.7	1.06	27.5
喉頭	90	103	1.28	225	0.3	0.1	0.2	47.5	2.18	85.8
肺	14010	15130	1.08	21192	32.7	13.1	18.6	20.6	1.40	67.3
皮膚*3	522	532	1.05	4186	6.5	2.5	3.5	6.1	7.87	93.8
乳房*1	8824	9653	1.1	40675	62.7	39.6	51.0	4.4	4.21	90.8
子宮*1	4530	5200	1.15	22947	35.4	24.6	31.1	5.9	4.41	89.5
子宮*2	4530	5200	1.15	15687	24.2	15.0	19.4	8.1	3.02	86.3
子宮頸	2080	2367	1.15	8105	12.5	8.4	10.7	5.6	3.42	90.0
子宮体	1053	1272	1.24	6879	10.6	6.2	8.1	5.1	5.41	92.3
卵巣	3747	4154	1.11	7732	11.9	7.3	9.2	13.3	1.86	76.5
膀胱	1429	1587	1.13	3935	6.1	2.2	3.2	16.0	2.48	76.4
腎など	1619	1746	1.09	4018	6.2	2.7	3.8	13.7	2.30	70.2
脳・神経系	668	686	1.05	2229	3.4	2.2	2.6	21.4	3.25	66.1
甲状腺	868	896	1.06	6099	9.4	6.0	7.5	5.5	6.81	90.2
リンパ腫	3382	3396	1.01	6092	9.4	4.6	6.1	14.7	1.79	83.5
多発性骨髄腫	1638	1721	1.07	2063	3.2	1.2	1.7	28.1	1.20	70.7
白血病	2922	2839	0.97	3599	5.6	3.5	4.1	19.8	1.27	81.4
死亡数: 年齢不詳を除く										
*1乳房、子宮頸部の上皮内がんを含む										
*2乳房、子宮頸部の上皮内がんを含まない										
*3皮膚の黒色腫を含む										
*4年齢調整死亡率の基準人口を世界標準人口とした場合										
*5年齢調整死亡率の基準人口を1985年日本モデル人口とした場合										
*6各登録室における割合の算術平均値										

※厚生労働省構成科学研究費補助金 (第3次対がん総合戦略研究事業)分担研究報告書より抜粋

参考資料1 鳥取県がん登録事業実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、鳥取県がん登録事業（以下「がん登録」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業の目的)

第2条 がん登録は、本県における悪性新生物患者の疫学及び診療面での実態を把握するため、悪性新生物の登録を行い、もって悪性新生物予防対策推進上の基礎資料とし、県民の保健衛生の向上に寄与することを目的とする。

(事業の実施)

第3条 がん登録は、県が鳥取県健康対策協議会（以下「健対協」という。）に委託して実施する。

(登録の対象)

第4条 がん登録は、次に掲げる者（以下「登録対象者」という。）について行う。

(1) 県内居住者で次に掲げる疾患（良性と明記されていない脳腫瘍及び内分泌腫瘍を含む。）と診断又は疑診された者

ア 悪性新生物

イ 上皮内癌

ウ 性質不詳の新生物

(2) 県内居住者で死亡した者のうち、人口動態調査（昭和22年指定統計第5号）死亡小票（以下「死亡小票」という。）のいずれかの欄に悪性新生物又は性質不詳の新生物の記載のある者

(登録事項)

第5条 がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項（以下「登録事項」という。）について登録する。

(1) 氏名

(2) 性別

(3) 生年月日

(4) 現住所

(5) 診断名

(6) 病理組織診断名

(7) 病巣の拡がり

(8) 初診年月日

(9) 症状初発年月

(10) 受診の動機

(11) 診断・疑診年月日

(12) 診断根拠

(13) 治療方法

(14) 生存状況

(登録の方法)

第6条 がん登録は、次により行う。

(1) 届出票による登録

ア 健対協は、医療機関に対し、患者が登録対象者に該当するときは、届出票（様式第1号）の提出を求めることができるものとする。

イ 健対協は、提出された届出票について記入漏れ、重複の有無、疑義又は不明事項の有無等を確認し、必要に応じて届出した医療機関に問い合わせるものとする。この場合、健対協は、当該医療機関に対し、問合せ票（様式第2号）の提出を求めることができるものとする。

ウ 健対協は、登録対象者に係る登録事項を記入するための冊子又は電子媒体（以下「腫瘍登録簿」という。）を作成し、確認済の届出票の内容を腫瘍登録簿に登録するものとする。

(2) 死亡小票による登録

ア 県は、管内保健所から死亡小票の写しの提供を受け、健対協に送付するものとする。

イ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、登録済の登録対象者の死亡が確認された場合は、その旨を腫瘍登録簿に登録するものとする。
ウ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、死亡小票に未登録の登録対象者が記載されていた場合は、当該登録対象者を腫瘍登録簿に登録するものとする。この場合、死亡診断書を作成した医療機関に対し、当該登録対象者に係る補充票（様式第3号）の提出を求めることができるものとする。

（予後の調査）

第7条 健対協は、登録済の登録対象者の生死の状況を確認するため、医療機関に対し必要に応じて追跡票（様式第4号）の提出を求めることができるものとする。

2 前条第1号イ及びウの規定は、前項の規定による予後の調査をする場合について準用する。

（解析及び評価）

第8条 健対協は、第6条及び第7条による登録に基づき解析及び評価を行い、罹患率その他の数値を算出するものとする。

（結果の報告）

第9条 健対協は、前条による結果並びに第6条及び第7条による登録の状況を毎年1回以上県に報告するものとする。

2 健対協は、前項の報告の提出に当たって、当該報告に係る疾病の予防対策、患者の管理対策等について意見を付することができる。

（結果の公表）

第10条 県は、第8条による結果を、毎年、速やかに公表するものとする。

（利用及び提供の制限）

第11条 がん登録に従事する者は、届出票その他のがん登録に係る情報の取扱いを厳重に行うとともに、第2条に掲げる目的以外の目的のために登録対象者に係る登録事項をがん登録に従事する者において利用し、又はがん登録に従事する者以外の者に提供してはならない。ただし、疫学研究への活用等提供することに公益上の必要その他相当な理由があると県が認めるときは、この限りでない。

（情報の提供）

第12条 県は、前条ただし書の規定により登録対象者に係る登録事項を提供しようとするときは、提供を受ける者に対し、鳥取県個人情報保護事務取扱要綱（平成11年9月29日付鳥取県総務部長通知）に定める個人情報提供申請書のほか、次に掲げる書類のいずれかを提出させるものとする。

（1）承認済の倫理審査申請書

（2）承認済の研究計画書その他前号に準ずる書類

（雑則）

第13条 この要綱に定めるもののほか、がん登録の実施について必要な事項は、福祉保健部長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成17年5月26日から施行し、平成17年度事業から適用する。

2 成人病登録実施要綱は、廃止する。

参考資料 2

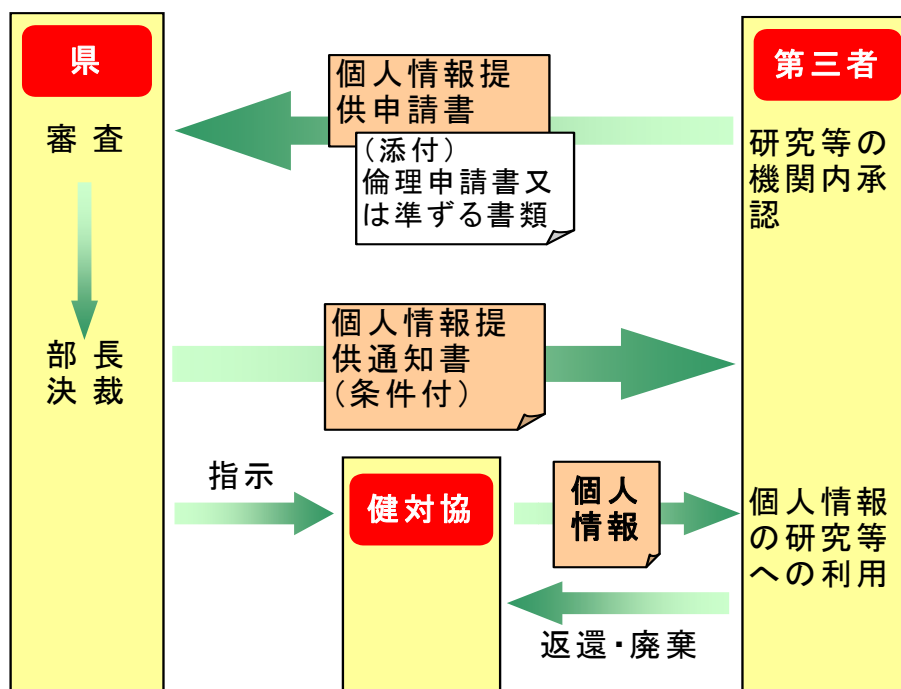
登録情報の提供および疫学研究等での利用手続き

鳥取県がん登録事業実施要綱第11条および第12条の趣旨に基づき、所定の手続き、審査を経て、情報の提供を受けることができる。その趣旨と手続き方法を以下に示す。

趣旨

がん登録事業で収集される個人情報について、疫学研究等での利用を目的とする第三者に提供する際には、鳥取県個人情報保護事務取扱要領に基づき、次の手順で行う。

- ① 第三者が「個人情報提供申請書」に、第三者が所属する機関で承認を得た倫理申請書又はこれに準ずる書類を県に提出する。
- ② 県は審査の結果、適当と認めるときは、「個人情報提供通知書」を条件を付した上、交付する。
- ③ 県は委託先の健対協に指示して、第三者の求める個人情報を提供させる。
- ④ 第三者は個人情報を利用した後は、健対協に返還するか廃棄する。



■ 個人情報提供の申請・審査・条件付提供通知・提供の流れ



鳥取県がん登録届出票

(1) 届出機関名・所在地 ・名称 _____	
(2) 患者氏名： ふりがな (_____) (姓 _____ 名 _____)	(3) 性別： 1. 男 2. 女
(4) 生年月日： 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
(5) 現住所： _____ 鳥取 _____ 市 _____ 町 _____ 番地 _____ 県 _____ 郡 _____ 村 _____ 番 _____ 号	
(6) 診断名： _____ 腫瘍占居部位 _____ 1. 原発 2. 続発 (原発巣 _____) 3. 不明 1. 確定 2. 疑診	
(7) 病理組織診断名： (_____) ※例：「扁平上皮癌」「高分化腺癌」など	
(8) 病巣の拡がり： 1. 上皮内 2. 当該臓器に局限 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明	
(9) 初診年月日： _____ 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	(10) 症状初発年月： _____ 平 _____ 年 _____ 月頃
(11) 受診の動機： 1. 有訴受診 2. 健康診断(人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他	
(12) 診断・疑診年月日： _____ 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
(13) 診断根拠：前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。 1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー 5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ	
(14) 治療方法：該当するものの番号には○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。 1. 外科的手術 (腹腔鏡手術を含む) } ⇨ a. 治癒切除 b. 非治癒切除 2. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む) } 3. 放射線療法 4. 化学療法 5. ホルモン療法 6. 免疫療法 7. 対症療法のみ 8. その他(TAE、PEIT、ラジオ波、温熱、レーザー焼灼、MCT/MCNT、骨髄移植 _____)	
(15) 生存状況： 1. 生存中 (最終生存確認年月日：平 _____ 年 _____ 月 _____ 日) 2. 死亡 (死亡年月日：平 _____ 年 _____ 月 _____ 日) ⇨ 死因 a. がん死 b. 他病死 3. 不明	
(16) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合は、その医療機関名を記載下さい。 _____	(17) 患者を他機関で紹介された場合はその医療機関名を記載して下さい。 _____

この欄は記入しないで下さい。	※ 受付年月日： _____
	※ 受付番号： NO.
	※ 登録番号： NO.

参考資料 4

鳥取県がん登録届出票記入要領(案)

(2007年6月改訂版)

- 届出対象住所 : 鳥取県内在住者(他府県住所の患者は、届出があっても登録・集計に含めない)
同上 疾患 : 全悪性新生物(上皮内がんを含む)または頭蓋内の新生物(良性及び性状不詳の新生物を含む)
- 届出票の提出 : 1. 貴院における治療終了時
入院患者:新発生のがんに対する一連の治療が終了した時、または退院時
外来患者:(1)外来治療終了時、(2)検査・治療のために他院に紹介した時
2. 多重がんの診断時(各々の部位について別々に届出票を作成)
3. 悪性新生物と診断されていた患者が死亡した時

なお、再通知の場合は、**最低(1)~(6)**の項目と**追加・訂正・更新のあった項目**のみの記入でも構いません。
記入に際しましては、できるだけ分かりやすい表記をお願いします。
また、貴院で既に新発生のがんの届出をした者の再発例の届出は不要です。

必須項目(1)~(6)

- (1)届出機関・所在地・名称 : 貴病院・医院・診療所の所在地と名称を記入して下さい。
レセプトなどに使用されるスタンプでも構いません。
- (2)患者氏名 : 姓と名の間は1文字空けて、氏名には必ず正しいふりがなを付けて下さい。
(個人情報の取扱いには、細心の注意を払っております)。
- (3)性別 : 該当する番号を○で囲んで下さい。
- (4)生年月日 : 和暦で生年月日を記入。元号は、該当する番号を○で囲み、年月日を記入して下さい。
この項は、登録照合の第1指標として活用されますので、お書き間違いのないようお願いいたします。
- (5)現住所 : 県内居住者は市・郡からお書き下さい。市・郡・町・村の文字は該当するものを○で囲んで下さい。
注) 受診のために仮の住所に滞在されている場合は、本来の住所を記入して下さい。
- (6)診断名 : 診断名中には分類のため腫瘍発生の臓器を示して下さい。
例:胃の噴門部、胃U、S状結腸、上行結腸、右乳房外上など
なお、明確に悪性を示す言葉のない診断名(例一膀胱腫瘍)の場合、もし悪性であることが判明していれば、悪性の言葉を頭に付けて下さい。悪性の言葉がないと、性状不詳の新生物に分類されます。
また、上皮内癌の症例には上皮内癌、再発の症例には再発とお書き添え下さい。

◎腫瘍占居部位 : 診断名に示された臓器内の腫瘍の占居部位は可能な限り書いて下さい。

例 : 診断名:胃がん→**腫瘍占居部位:噴門部**、診断名:膀胱がん→**腫瘍占居部位:尿管口**
診断名:肺がん→**腫瘍占居部位:上葉**、診断名:乳がん→**腫瘍占居部位:C(外側上部)**

原発・続発・不明 : 診断名に記載された腫瘍の該当する番号を○で囲んで下さい。

続発性の場合には、原発巣を記入して下さい。

確診・疑診 : 貴医療機関における判断により、該当する番号を○で囲んで下さい。

※コード化しますので略語の利用は避けて、できるだけ読みやすい表記をお願いします。

※多重がんの場合は、各々のがんについて別々に届出票を作成して下さい。

◎(7)病理組織診断名：病理組織検査による診断名《組織型》を記入して下さい。

例：扁平上皮癌、高分化型腺癌、低分化型管状腺癌、移行上皮癌、硬性腺癌、肝細胞癌
※病理組織所見(肺の腺癌・扁平上皮癌、胃の低分化腺癌、B細胞慢性リンパ性白血病、など)が
ますます重要になっていますので、病理組織型<分化度、リンパ腫・白血病の免疫学的表現型を含
め>を漏れなく記入して下さい。できるだけ読みやすい表記をお願いします。

(8)病巣の拡がり：悪性新生物と診断された病巣の拡がりについて該当する番号を○で囲んで下さい。

1.上皮内 2.当該臓器に限局 3.所属リンパ節転移 4.隣接臓器浸潤 5.遠隔転移 6.不明

(9)初診年月日：(6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を最初に受診した年月日を記入して下さい。

(10)症状初発年月：(6)診断名に記載の腫瘍によると思われる患者の症状の初発年月を記入して下さい。
不明は空欄にする。

(11)受診の動機：腫瘍の発見の経緯を把握するための項目。該当する番号を○で囲んで下さい。

1.有訴受診 2.健康診断(人間ドック等) 3.各種がん検診 4.他疾患治療中 5.その他

(12)診断・疑診年月日：貴医療機関が、患者を(6)診断名に記載の腫瘍と診断または疑診(記入時点で
なお疑診に留まっている場合)の年月日を記入して下さい。

(13)診断根拠：前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入
して下さい。

1. 原発巣の組織診…白血病の骨髄穿刺は、この項に含む。
2. 転移巣の組織診。
3. 細胞診…喀痰、尿沈渣、腔分泌物などによる剥離細胞診、TV ブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過あるいは吸引細胞診、洗滌細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含む。
4. 部位特異的な腫瘍マーカー…絨毛癌のHCG、前立腺がんのPSA、肝がんのAFP、神経芽細胞腫のHVA・VMA、など。
5. 臨床検査…X線、CT、MRI、RI、PET、超音波などの画像診断、内視鏡。組織診、細胞診を伴わない試験開腹・開胸・解剖。CEAなどの非特異的腫瘍マーカー、など。
6. 臨床所見のみ…上記1-5を伴わない視触診。

(14)治療方法：貴医療機関が実施された治療方法の番号を○で囲んで下さい。

なお、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。

- | | | |
|---------------------|--|----------------------|
| 1.外科的手術(腹腔鏡手術を含む) | } →治療結果: | 1.治癒切除、2.非治癒切除、3.その他 |
| 2.内視鏡手術(ポリペクトミーを含む) | | の該当する番号を○で囲んで下さい。 |
| 3.放射線療法 …… | 放射線治療。主治療の他、術前術後照射も含む。 | |
| 4.化学療法 …… | 抗がん剤投与。術中投与も含む。肝がんのTAIは、ここに含める。 | |
| 5.ホルモン療法 …… | ホルモン剤投与。自己のホルモン分泌を制御するための摘除術、あるいは放射線照射 | |
| 6.免疫療法 …… | 悪性腫瘍に対する自己免疫を強化する目的で行われるBCGなどの投与。 | |
| 7.対症療法のみ …… | 1.~5.、および7.以外の治療方法を行わず、対症療法のための治療。 | |
| 8.その他 …… | 1.~6.以外の治療方法による治療。該当する治療法を○で囲んで下さい。 | |

その他、それ以外の治療をした場合にはその治療名を記入して下さい。

TAE …肝動脈塞栓療法。

PEIT …経皮的エタノール注入法。

ラジオ波

温熱 … 病巣に対して行った温熱療法。

レーザー焼灼 … レーザー光線によるがん病巣の焼灼。

MCT/MCNT(Microwave coagulation necrosis therapy) …マイクロ波 凝固壊死療法。

骨髄移植

(15)現在の状態 : 貴医療機関が確認している最新の患者の状態について、該当する番号を○で囲んで下さい。なお、生存中の場合には、最終生存確認年月日を、死亡の場合には、死亡年月日を記入して下さい。

1.生存中 2.死亡 3.不明

死因 a.がん死 b.他病死

(16)前医療機関 : (6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を受診する前に受診した医療機関があれば、その医療機関名を書いて下さい。

(17)紹介医療機関 : (6)診断名に記載の腫瘍のために、患者を他の医療機関に紹介された場合には、その医療機関名を書いて下さい。

[問い合わせ先]

1. 届出票・専用封筒の請求

2. 届出票の記載方法

いずれも、鳥取県医師会内 鳥取県健康対策協議会事務局へ。

電話:0857-27-5566 Fax:0857-29-1578

〒680-8585 鳥取市戎町 317 番地

病理組織略語表

Malignant Tumor 届出票の病理組織を記入時に参照してください。

部位共通

病理組織名	略語
腺がん	ad.ca.
管状腺がん	tub
高分化型管状腺がん	tub1
中分化型管状腺がん	tub2
低分化型管状腺がん	tub3
印環細胞がん	sig
粘液がん	muc
乳頭腺がん	pap
扁平上皮がん	sq.C.C.
腺扁平上皮がん	asc
肝細胞がん	HCC
胆管細胞がん	CCC
腎細胞がん	RCC
未分化がん	ud
小細胞がん	SmCC
移行上皮がん	TCC
基底細胞がん	BCC
上皮内がん	CIS

部位固有

乳がん

病理組織名	略語
乳頭腺管がん	Pap tub
充実腺管がん	Solid tub
硬がん	Sci

胃がん・大腸がん・前立腺がん

病理組織名	略語
低分化腺がん	por,por1,por2

リンパ腫・白血病

病理組織名	略語
悪性リンパ腫	ML
非ホジキンリンパ腫	NHL
急性リンパ芽球性白血病	ALL
急性骨髄性白血病	AML
慢性リンパ球性白血病	CLL
慢性骨髄性白血病	CML
成人 T 細胞白血病	ATL

白血病の FAB 分類

L1 ~3, MO ~7

分化度

病理組織名	略語
Well differentiated	W/D ,Well diff
Moderately differentiated	M/D ,Mod diff
Poorly differentiated	P/D ,Poorly diff
Undifferentiated	Undiff

がん登録専門医委員会

委員長：岸本拓治（鳥大医学部社会医学講座環境予防医学教授）

平成 20 年 3 月現在

明穂 政裕（県医師会理事）	武田 倬（県立中央病院長）
石飛 誠一（中部医師会）	中曾 庸博（西部医師会）
岩垣 陽子（鳥取県医師会事務局）	能勢 隆之（鳥取大学長）
大津 千晴（石田医院）	福島 明（東部医師会）
岡本 幹三（鳥取大学医学部 環境予防医学講師）	藤井 昭（県立厚生病院長）
尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学准教授）	藤井 秀樹（米子保健所長）
紀川 純三（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）	宮崎 博実（県医師会常任理事）
北窓 妙子（県健康政策課長）	村脇 義和（鳥取大学医学部機能病態内科学教授）
国政 清子（鳥取県立中央病院医療情報管理室看護師）	山下 裕（鳥取市立病院副院長）
古城 治彦（山陰労災病院副院長）	吉中 正人（県医師会理事）
早田 鈴美（倉吉市健康支援課保健師）	

敬称略

編集後記

今年も報告書原稿づくりは、年度末ぎりぎりの瀬戸際まで持ち越された。計画だけは、半年前のがん登録対策委員会報告が片づいた頃から今年こそは、これでいこうと、前途洋々の感があった。その後、電子媒体によるがん登録の届出様式の導入や、全国協議会報告、がん臨床研究事業に係わる集計解析、津熊班中間報告、死亡票入力から標準集計に、年度末には深尾班の研究協力作業も加わって、締め切りに追われる毎日であった。なかでも、電子媒体による届出に関する作業は、大変であった。何が大変かという、医療機関ごとのがん登録管理システムが異なることであった。実態を把握し、個別に対応するのが最善であるが、現実問題として対応は難しく、苦慮した。結局、電算化されていない病院には、鳥取県がん登録管理システムの入力ソフトを提供することで電子媒体による届出をお願いし、既存の院内がん登録システムによる届出をしている病院には、指定したフォーマットに加工して電子媒体による届出をお願いした。11月から、一部ではあるが、電子媒体による届出が開始され、トラブルを繰り返しながら、何とか軌道に乗ることができた。その結果、2007年の届出件数は、1000件の増加、新規登録件数は約600件も増加した。そのほとんどは、都道府県連携拠点病院に指定された大学病院からの届出であった。この背景として、がん対策基本法の制定による、がん診療の均てん化に向けた国家施策の高まりと国民的な関心の深まりが追い風になっていることは否めない。いずれにしても、この風をうまく活用して地域がん登録の精度向上と活用に関する研究を発展につなげていきたいものです。

本報告書は、小林まゆみ研究補佐員の協力のもとに完成することができました。不備な点も多々あるかとは思いますが、忌憚のないご意見・ご感想をいただけますと幸いです。

平成 20 年 3 月吉日

鳥取県健康対策協議会 がん登録対策専門委員会委員

鳥取大学医学部環境予防医学分野

岡本幹三

同上がん登録実務担当

小林まゆみ